第 1 1 1 回定例会

南 部 町 議 会 会 議 録

令和 4 年 8 月 30 日 開会

令和 4 年 9 月 6 日 閉会

南 部 町 議 会

第 1 1 1 回南部町議会 定例会会議録目次

第 1 号（8月30日）

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	2
○出席議員	2
○欠席議員	3
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	3
○職務のため出席した者の職氏名	3
○開会及び開議の宣告	4
○議会運営委員会委員長の報告	4
○会議録署名議員の指名	5
○会期の決定	5
○諸般の報告	6
○町長提出議案提案理由の説明	6
○報告第15号の上程、説明、質疑、討論、採決	10
○報告第16号の上程、説明、質疑、討論、採決	12
○報告第17号の上程、説明、質疑	13
○報告第18号の上程、説明、質疑	14
○議案第71号の上程、説明、質疑、討論、採決	15
○議案第72号の上程、説明、質疑、討論、採決	16
○議案第73号の上程、説明、質疑、討論、採決	17
○議案第74号の上程、説明、質疑、討論、採決	18
○議案第75号の上程、説明、質疑、討論、採決	19
○議案第76号の上程、説明、質疑、討論、採決	21
○議案第77号の上程、説明、質疑、討論、採決	22
○議案第54号から議案第69号までの上程、委員会付託	23
○陳情第2号の上程、委員会付託	24
○散会の宣言	24

第 2 号 (9月1日)

○議事日程	2 5
○本日の会議に付した事件	2 5
○出席議員	2 5
○欠席議員	2 5
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	2 6
○職務のため出席した者の職氏名	2 6
○開議の宣告	2 7
○一般質問	2 7
中 舘 文 雄 君	2 7
夏 堀 嘉一郎 君	3 8
工 藤 愛 君	4 2
○散会の宣告	5 7

第 3 号 (9月6日)

○議事日程	5 9
○本日の会議に付した事件	6 0
○出席議員	6 0
○欠席議員	6 0
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	6 0
○職務のため出席した者の職氏名	6 1
○開議の宣告	6 2
○議案第54号から議案第69号の委員長報告、討論、採決	6 2
○議案第70号の上程、説明、質疑、討論、採決	6 3
○議案第78号の上程、説明、質疑、討論、採決	6 4
○議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決	7 2
○議案第80号の上程、説明、質疑、討論、採決	7 3

○議案第81号の上程、説明、質疑、討論、採決	7 4
○議案第82号の上程、説明、質疑、討論、採決	7 6
○議案第83号の上程、説明、質疑、討論、採決	7 8
○議案第84号の上程、説明、質疑、討論、採決	7 9
○陳情第2号の委員長報告、質疑、討論、採決	8 1
○常任委員会報告	8 2
○委員会の閉会中の継続調査の件	8 3
○議員派遣の件	8 3
○閉会の宣告	8 3
○署名議員	8 7

令和4年8月30日（火曜日）

第111回南部町議会定例会会議録

（第1号）

第111回南部町議会定例会

議事日程（第1号）

令和4年8月30日（火）午前10時開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 町長提出議案提案理由の説明
- 第 5 報告第 15号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて
（令和4年度南部町一般会計補正予算（第4号））
- 第 6 報告第 16号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて
（令和4年度南部町一般会計補正予算（第5号））
- 第 7 報告第 17号 青森県新産業都市建設事業団の決算報告について
- 第 8 報告第 18号 令和3年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率
の報告について
- 第 9 議案第 71号 工事請負契約の締結について（福田集会所建設工事）
- 第 10 議案第 72号 工事請負契約の締結について（学童保育施設建設工事）
- 第 11 議案第 73号 工事請負契約の締結について（福地地区小中学校空調設備設置工事）
- 第 12 議案第 74号 工事請負契約の締結について（名川地区小中学校空調設備設置工事）
- 第 13 議案第 75号 工事請負契約の締結について（南部地区小中学校空調設備設置工事）
- 第 14 議案第 76号 工事請負契約の締結について（南部町民体育館電気設備等改修工事）
- 第 15 議案第 77号 財産の取得について（小中学校空気清浄機）
- 第 16 議案第 54号 令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第 17 議案第 55号 令和3年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定につい
て
- 第 18 議案第 56号 令和3年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定
について
- 第 19 議案第 57号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 20 議案第 58号 令和3年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

- 第 21 議案第 59号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 22 議案第 60号 令和3年度南部町病院事業会計利益剰余金処分の議決及び決算認定について
- 第 23 議案第 61号 令和3年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 24 議案第 62号 令和3年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 25 議案第 63号 令和3年度南部町営地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 26 議案第 64号 令和3年度南部町大字上名久井財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 27 議案第 65号 令和3年度南部町大字平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 28 議案第 66号 令和3年度南部町大字平字下平外14字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 29 議案第 67号 令和3年度南部町大字下名久井字田端外17字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 30 議案第 68号 令和3年度南部町大平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 31 議案第 69号 令和3年度南部町名久井岳財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 32 陳情第 2号 園や学校生活における、マスク着用が困難な子どもの人権を守ることおよび過剰な感染対策の見直しを求める陳情書

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（16名）

1番	工藤 愛君	2番	松本 啓吾君
3番	久保利 樹君	4番	夏堀 嘉一郎君
5番	坂本 典男君	6番	滝田 勉君
7番	西野 耕太郎君	8番	山田 賢司君
9番	八木田 憲司君	10番	中舘 文雄君
11番	工藤 正孝君	12番	夏堀 文孝君
13番	沼畑 俊一君	14番	根市 勲君

15番 馬場又彦君

16番 川守田 稔君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

副町長	佐々木 俊 昭 君	総務課課長補佐	佐々木 朋 治 君
企画財政課参事	金 野 貢 君	交流推進課長	松 原 浩 紀 君
税務課長	下井田 耕 一 君	住民生活課長	夏 堀 勝 徳 君
福祉介護課長	戸 室 正 樹 君	健康こども課長	夏 坂 和 徳 君
農林課長	石 橋 一 史 君	商工観光課長	北 上 隆 広 君
建設課参事	松 橋 悟 君	会計管理者	藤 嶋 健 悦 君
医療センター事務長	岩 間 雅 之 君	市場参事	馬 場 均 君
教育長	高 橋 力 也 君	学務課長	西 舘 昌 男 君
社会教育課長	柳久保 正 弘 君	農業委員会事務局長	野 月 正 治 君
代表監査委員	山 口 裕 貢 君		

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	舘 崎 あつ子	総括主査	坂 本 裕 昭
主 事	柴 田 和 香		

◎開会及び開議の宣告

○議長（夏堀文孝君） これより第111回南部町議会定例会を開会いたします。
本日の会議を開きます。
議事日程はお手元に配付のとおりです。

(午前10時01分)

◎議会運営委員会委員長の報告

○議長（夏堀文孝君） ここで議会運営委員長から、本定例会の運営について議会運営委員会の報告を求めます。議会運営委員長、馬場又彦君。

(議会運営委員会委員長 馬場又彦君 登壇)

○議会運営委員会委員長（馬場又彦君） おはようございます。

去る8月22日、議会運営委員会を開催し、第111回定例会の運営について協議しましたので、決定事項をご報告します。

本定例会に付議されました事件は、町長提出の案件が報告4件、令和3年度決算審査16件、条例など8件、令和4年度補正予算7件であります。

令和3年度決算につきましては、決算特別委員会を設置し審査を付託することにしました。

そのほかの案件として、陳情1件、常任委員会報告などがあります。

一般質問は3名から通告があり「一般質問通告一覧表」のとおりに行うことにしました。

以上のことを踏まえて、本定例会の会期は、本日、8月30日から9月6日までの8日間としました。

なお、会期中、8月31日は議案熟考のため、9月2日、5日は決算特別委員会のため、9月3日、4日は休日のため休会にします。

以上のとおり決定しましたので、理事者並びに議員各位のご協力をよろしくお願いします。

これで、議会運営委員会の報告を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 議会運営委員長の報告が終わりました。

◎会議録署名議員の指名

○議長（夏堀文孝君） 日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により議長において、3番久保利樹君、4番夏堀嘉一郎君を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（夏堀文孝君） 日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、議会運営委員会の報告のとおり、本日、8月30日から9月6日までの8日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

会期は、本日から9月6日までの8日間に決定しました。

お諮りします。ただいま決定されました8日間の会期中、8月31日は議案熟考のため、9月2日、5日は決算審査のため、9月3日、4日は休日のため休会にしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

ただいまの5日間は、休会とすることに決定いたしました。

◎諸般の報告

○議長（夏堀文孝君） 日程第3「諸般の報告」をします。

諸般の報告につきましては、配布のとおりですので朗読は省略します。

なお、監査委員より、令和4年度財政援助団体等監査の結果について報告がありましたので、その写しも併せて配布しておきます。

本定例会の上程は、町長提出の案件が、報告4件、議案は、決算認定16件、条例等8件、補正予算7件、ほかに、陳情1件、常任委員会報告などがあります。

日程によりそれぞれ議題とします。

◎町長提出議案提案理由の説明

○議長（夏堀文孝君） 日程第4「町長提出議案提案理由の説明」を求めます。

副町長の登壇を求めます。副町長。

（副町長 佐々木俊昭君 登壇）

○副町長（佐々木俊昭君） 皆様、おはようございます。

本日招集の第111回南部町議会定例会を開会するにあたり、議員各位には何かとご多忙のところご出席をいただき、提出案件につきましてご審議を賜りますことに、厚く御礼申し上げます。

工藤町長が自宅療養中でございますので、私、副町長の佐々木が、定例会の開会にあたりまして、提案理由の概要についてご説明を申し上げます。

議案の説明の前に、まずは、新型コロナウイルス感染症についてであります。7月に入ってから第7波による感染者数が急増し、高止まりの状態が続いておりましたが、お盆の帰省など人流増加の時期を挟み、地域によって差はありますが、再び増加傾向となっております。

感染者数の増加に伴い、保健所における対応業務もひっ迫していることから、県からの要請に基づき、当町、五戸町、階上町及びおいらせ町の4町において、8月8日から町保健師を三戸地

方保健所へ交代勤務で派遣し、業務の支援を行っているところであります。

当町のワクチン接種率は、8月26日現在、1回目が92.4%、2回目が91.9%、3回目が83.2%、4回目は60歳以上の接種率となりますが、61.3%と順調に推移しており、引き続き、住民に対する感染予防の呼びかけを行いつつ、地域経済の維持回復に資する施策を展開してまいりたいと考えております。

さて、新聞などの報道で皆様ご存じのことと思いますが、令和3年度ふるさと納税の市町村ごとの実績が発表され、町村の部では当町が県内でトップとなり、市を含めた全体でも第4位でありました。今後も、生産者の皆様のご協力を得ながら、魅力ある南部町のPRを推進してまいります。

また、7月27日に発表された「2022年街の住みこちランキング」では、昨年の県内第9位から順位を2つ上げ、第7位に選ばれました。これまでのまちづくりの成果の表れであると感じているところであり、引き続き、教育・子育ての充実、生活環境の整備などに努め、「住みよい南部町」を目指してまいりたいと考えておりますので、議員各位のご指導、ご協力をお願いするものであります。

さて、「第30回青森県民駅伝競走大会」が来月4日に開催されます。コロナ禍により一昨年、昨年と中止が続き、3年ぶりの開催となるものであり、前回の「町の部第2位」の悔しさをバネに、総合優勝を勝ち取るべく、選手団の皆様のご活躍をお祈り申し上げるものであります。

それでは、本定例会に提出いたしました案件であります。報告4件、令和3年度決算の認定16件、条例の一部改正1件、契約や財産の取得7件、令和4年度一般会計及び各特別会計の補正予算案が7件の、合わせて35件でございます。

順にご説明申し上げ、審議のご参考に供したいと存じます。

まず初めに、報告第15号から第16号「専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて」ご説明いたします。

報告第15号「令和4年度南部町一般会計補正予算（第4号）」であります。7月4日に発生した集中豪雨による林道や町道等の災害復旧費として1,280万円を追加することについて専決処分したものを、地方自治法の規定によりご報告し承認を求めるものであります。

次に、報告第16号「令和4年度南部町一般会計補正予算（第5号）」であります。8月3日に発生した集中豪雨による林道や町道等の災害復旧費として3,720万円を追加することについて専決処分したものを、地方自治法の規定によりご報告し承認を求めるものであります。

次に、報告第17号「青森県新産業都市建設事業団の決算報告について」であります。事業団

の令和3年度決算状況について、決算書及び付属書類を添えて議会に報告させていただくものがあります。

次に、報告第18号「令和3年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について」であります。地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和3年度の南部町の財政の健全性を判断するため、4つの指標を用いてご報告し、また、各公営企業の経営健全性を、資金不足比率を用いてご報告するものであります。

健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、いずれも赤字額、資金不足額がなく、実質公債費比率も早期健全化基準を下回っており、引き続き、財政の健全化に努めてまいる所存であります。

次に、議案第54号から議案第69号までであります。令和3年度の各会計決算16件につきまして、監査委員の意見を付して議会の認定を求めるものでございます。

各会計の詳細につきましては、会計管理者及び担当課長からご説明いたしますので、私からは一般会計決算の概要についてご説明申し上げます。

議案第54号「令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について」であります。予算総額は、歳入歳出それぞれ120億6,230万8,000円で、これに対し収入済額は119億3,614万7,947円で、支出済額は114億2,560万6,544円となりました。

この結果、歳入歳出差引額は5億1,054万1,403円で、翌年度へ繰り越すべき財源1,670万4,000円を除いた実質収支額は4億9,383万7,403円であり、このうち、地方自治法の規定により、財政調整基金に3億9,000万円、減債基金に300万円の、合わせて3億9,300万円を積み立てしております。

監査委員からは「財務事務及び財産管理についても概ね適正に処理されているものと認められた」との総括意見をいただいております。今後とも、町税や使用料等の自主財源を中心とした歳入の確保対策に努めるとともに、歳出にあたっては、事務事業の合理化、効率化を図り、今後ますます複雑多様化する行政需要のほか、激甚化する災害や新型コロナウイルス感染症対策など、不測の事態にも即時に対応できる財政基盤を維持してまいる所存でありますので、議員各位のご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

なお、令和3年度の主要施策の成果につきましては、別冊で「行政報告書」としてお手元に配付しておりますので、決算審議のご参考にしていただきたいと思います。

次に、議案第70号「南部町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部を改正する法律が令和4年10

月 1 日から施行されることに伴い、職員及び非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するほか、所要の改正をするものであります。

次に、議案第71号から議案第76号まで「工事請負契約の締結について」であります。 「福田集会所建設工事」、「学童保育施設建設工事」、「福地地区、名川地区及び南部地区の小中学校空調設備設置工事」、「南部町民体育館電気設備等改修工事」の、以上6件の工事請負契約について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第77号「財産の取得について」であります。小中学校12校に設置する空気清浄機153台の購入契約について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第78号「令和4年度南部町一般会計補正予算（第6号）」であります。農業経費高騰緊急対策支援給付事業費として2億5,456万円を、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費として5,155万3,000円を、新型コロナウイルスワクチン接種事業費として3,120万7,000円を計上するなど、歳入歳出予算の総額に4億6,356万8,000円を追加し、予算の総額を121億6,949万9,000円とするほか、債務負担行為に令和5年度の南部町包括業務を追加するものであります。

次に、議案第79号「令和4年度南部町学校給食センター特別会計補正予算（第2号）」であります。老朽化した米飯用の食缶の更新費用として、歳入歳出予算の総額に308万7,000円を追加し、予算の総額を1億8,670万7,000円とするものであります。

次に、議案第80号「令和4年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）」であります。令和5年度分南部町包括業務の債務負担行為60万円を追加するものであります。

次に、議案第81号「令和4年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」であります。一般被保険者医療費給付費等の納付金の減額など、歳入歳出予算の総額から5,708万1,000円を減額し、予算の総額を22億2,345万2,000円とするほか、債務負担行為に令和5年度の南部町包括業務を追加するものであります。

次に、議案第82号「令和4年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）」であります。令和3年度介護給付費、地域支援事業費、介護保険事業費の決算確定に伴う返還金の増など、保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に1億648万2,000円を追加し、予算の総額を30億6,828万2,000円とするものであります。

次に、議案第83号「令和4年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」であります。人事異動に伴い人件費を増額するものであり、歳入歳出予算の総額に219万円を追加し、予算の総額を2億7,132万4,000円とするものであります。

次に、議案第84号「令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」であり

ますが、農業集落排水施設通報装置更新工事の工事単価増に伴い、工事請負費を増額するものであり、歳入歳出予算の総額に1,400万円を追加し、予算の総額を3億1,700万円とするものであります。

以上、本定例会に提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げましたが、議事の進行に伴い、また、ご質問に応じまして、本職はじめ、教育長、担当課長より詳細にご説明いたしますので、慎重審議の上、何卒、原案のとおりご議決を賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

よろしく願いいたします。

なお、ここで、工藤町長より伝言を預かっておりますので、代読いたします。

この度は私の新型コロナウイルス感染によりまして、議員各位をはじめ町民の皆様へ、ご心配、ご迷惑をおかけすることとなりましたことは、大変心苦しく感じているところでございます。

保健所からの指導に基づき、明日までしっかりと自宅療養させていただきまして、明後日の本会議2日目から出席いたしますので、何卒、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

よろしく願い申し上げます。

○議長（夏堀文孝君） 町長提出議案提案理由の説明が終わりました。

◎報告第15号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第5、報告第15号「専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（令和4年度南部町一般会計補正予算（第4号））」を議題とします。本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課参事（金野貢君） おはようございます。

それでは、議案書をご準備いただきまして、5ページをお開き願います。

報告第15号「専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて」ご説明申し上げます。

下段の処分理由に記載のとおり、7月4日の豪雨による災害の復旧経費を令和4年度一般会計予算に追加する必要が生じたため、専決処分したものでございます。

6ページをお開き願います。

専決第11号、令和4年度南部町一般会計補正予算（第4号）は、第1条、歳入歳出予算の総額に1,280万円を追加し、予算総額を116億6,873万1,000円とするもので、令和4年7月7日付で専決処分を行いました。

14、15ページをお開き願います。

歳出の補正でございますが、上段、11款1項1目農林水産業施設災害復旧費は、大雨による農道、林道などの復旧経費として480万円を追加。下段の2項1目公共土木施設災害復旧費は、町道の復旧経費として800万円を追加したものでございます。

ページを戻って12、13ページをお開き願います。

歳入の補正でございますが、本補正予算に係る財源として、18款2項1目財政調整基金から1,280万円を繰り入れし対応したものでございます。

以上のとおり専決処分したことについて、地方自治法の規定に基づきご報告申し上げ、議会の承認を求めるものでございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

報告第15号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

報告第15号は原案のとおり承認されました。

◎報告第16号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第6、報告第16号「専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（令和4年度南部町一般会計補正予算（第5号）」を議題とします。本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課参事（金野貢君） それでは、議案書の17ページをお開き願います。

報告第16号「専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて」ご説明申し上げます。下段の処分理由に記載のとおり、8月3日の豪雨による災害の復旧経費を令和4年度一般会計予算に追加する必要が生じたため専決処分したものでございます。

18ページをお開き願います。

専決第12号、令和4年度南部町一般会計補正予算（第5号）は、第1条、歳入歳出予算の総額に3,720万円を追加し、予算総額を117億593万1,000円とするもので、令和4年8月5日付で専決処分を行いました。

26、27ページをお開き願います。

歳出の補正でございますが、上段、11款1項1目農林水産業施設災害復旧費は、大雨による農道、林道などの復旧経費として650万円を追加。下段の2項1目公共土木施設災害復旧費は、町道、公園などの復旧経費として3,070万円を追加したものでございます。

ページを戻って24、25ページをお開き願います。

歳入の補正でございますが、本補正予算に係る財源として、10款1項1目地公交付税に3,720万円を追加し対応したものでございます。

以上のとおり専決処分したことについて、地方自治法の規定に基づきご報告申し上げ、議会の承認を求めるものでございますので、よろしく願いいたします。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。
討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。
報告第16号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。
報告第16号は原案のとおり承認されました。

◎報告第17号の上程、説明、質疑

○議長（夏堀文孝君） 日程第7、報告第17号「青森県新産業都市建設事業団の決算報告について」を議題とします。本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課参事（金野貢君） それでは、続きまして、説明資料のほうをご準備いただきまして、3ページをお開き願います。

報告第17号「青森県新産業都市建設事業団の決算報告について」ご説明申し上げます。

2番の内容に記載がありますとおり、事業団は令和4年3月31日をもって解散し、事務処理を引き継いだ青森県から令和3年度の決算書が提出されましたので、法令の規定に基づき報告をさせていただきます。

ページ中ほどの特定事業会計、その下の（1）一般管理会計、下段の（2）一般事業会計は、いずれも解散に伴う精算が完了したことから、表に記載がありますとおり、差引額等がゼロとなっております。

このうち、（1）一般管理会計に関し、清算により生じた余剰金として、南部町には31万1,156円が還付され、令和3年度の収入として処理しております。

なお、決算書等は別冊としてお配りしておりますが、監事からは決算及び資金不足比率に関し適正適法に行われているとの審査意見書が提出されている旨を申し添えまして、説明といたします。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。

これで報告第17号を終わります。

◎報告第18号の上程、説明、質疑

○議長（夏堀文孝君） 日程第8、報告第18号「令和3年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について」を議題とします。本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課参事（金野貢君） それでは、説明資料の4ページをお開き願います。

報告第18号「令和3年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について」ご説明申し上げます。

趣旨でございますが、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和3年度の健全化判断比率等について監査委員の意見を付して報告するものでございます。

2番、南部町の健全化判断比率でございますが、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、いずれも黒字でありましたので「－」としております。実質公債費比率は7.4%となり、昨年度より0.1ポイント改善しております。将来負担比率につきましては、将来負担額に対し充当可能財源が上回っていることから「－」としております。

3番、南部町公営企業の資金不足比率でございますが、病院事業会計をはじめ全ての公営企業会計において資金不足がないことから、いずれも「－」としております。

以上の健全化判断比率及び資金不足比率に対し、監査委員からはいずれも「特に指摘すべき事項はない」とのご意見をいただいていることを申し添えまして、説明といたします。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。

これで報告第18号を終わります。

◎議案第71号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第9、議案第71号「工事請負契約の締結について（福田集会所建設工事）」を議題とします。本案について説明を求めます。総務課長。

○総務課課長補佐（佐々木朋治君） 説明資料の7ページをお開き願います。

議案第71号「工事請負契約の締結について（福田集会所建設工事）」についてご説明いたします。

契約の相手方は、南部町大字斗賀字沼田5番地7、有限会社西塚建設工業、代表取締役、西塚義美。請負代金は4,833万3,120円。落札率は92.0%。条件付一般競争入札で行われ、入札業者等は8ページの入開札一覧表のとおりであります。

工事の内容でございますが、大字福田字町中5番地1に、木造平屋建て、建築面積219.60平方メートル、延床面積199.57平方メートルの集会所を建設するもので、工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和5年3月24日までであります。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。
討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。
議案第71号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 異議なしと認めます。
議案第71号は原案のとおり可決されました。

◎議案第72号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(夏堀文孝君) 日程第10、議案第72号「工事請負契約の締結について(学童保育施設建設工事)」を議題とします。本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長(夏坂和徳君) 説明資料の9ページをお開き願います。

議案第72号「工事請負契約の締結について(学童保育施設建設工事)」についてご説明申し上げます。

契約の相手方でございますが、南部町大字上名久井字外ノ沢10番地2、株式会社松本工務店、代表取締役、松本保築。請負代金は5,060万円。落札率は97.98%。施行方法は条件付一般競争入札で行われ、入札業者等は10ページの入開札一覧表のとおりであります。

工事の内容でございますが、建設地番は大字下名久井字赤沼3番地1、18番地25の一部。建物構造は木造平屋建て。敷地面積は982.86平方メートル。延床面積195.84平方メートルです。施工内容は、電気設備工事、機械設備工事を含む建築工事一式であります。

工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和5年2月28日までです。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第72号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第72号は原案のとおり可決されました。

◎議案第73号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第11、議案第73号「工事請負契約の締結について（南部町福地地区小中学校空調設備設置工事）」を議題とします。本案について説明を求めます。学務課長。

○学務課長（西舘昌男君） 説明資料の11ページをお開き願います。

議案第73号「工事請負契約の締結について（南部町福地地区小中学校空調設備設置工事）」についてご説明いたします。

契約の相手方でございますが、八戸市吹上一丁目9番5号、三和電業株式会社、代表取締役、小笠原雅昭。請負代金は9,449万円。落札率は95.69%であります。条件付一般競争入札で行われ、入札業者等は12ページの入開札一覧表のとおりであります。

工事の内容でございますが、福田小学校の教室13室及び管理諸室5室、並びに、福地中学校の教室10室及び管理諸室5室に、空調設備を設置するとともに高圧受電設備であるキュービクルを改修するものであります。

工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和5年3月20日までです。
以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第73号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第73号は原案のとおり可決されました。

◎議案第74号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第12、議案第74号「工事請負契約の締結について（南部町名川地区小中学校空調設備設置工事）」を議題とします。本案について説明を求めます。学務課長。

○学務課長（西舘昌男君） 説明資料の13ページをお開き願います。

議案第74号「工事請負契約の締結について（南部町名川地区小中学校空調設備設置工事）」に

ついてご説明いたします。

契約の相手方でございますが、南部町大字上名久井字昼ノ前13番地4、株式会社本田電機工業、代表取締役、本田篤。請負代金は1億1,638万円。落札率は94.97%であります。条件付一般競争入札で行われ、入札業者等は14ページの入開札一覧表のとおりであります。

工事の内容でございますが、名久井小学校の教室14室及び管理諸室5室、並びに、名川中学校の教室11室、管理諸室5室及びランチルームに、空調設備を設置するとともに高圧受電設備であるキュービクルを改修するものであります。

工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和5年3月20日までです。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第74号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第74号は原案のとおり可決されました。

◎議案第75号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第13、議案第75号「工事請負契約の締結について（南部町南部地区

小中学校空調設備設置工事)」を議題とします。本案について説明を求めます。学務課長。

○学務課長（西舘昌男君） 説明資料の15ページをお開き願います。

議案第75号「工事請負契約の締結について（南部町南部地区小中学校空調設備設置工事）」についてご説明いたします。

契約の相手方でございますが、八戸市下長四丁目5番3号、株式会社東洋電設、代表取締役、向谷地和弘。請負代金は9,614万円。落札率は95.47%であります。条件付一般競争入札で行われ、入札業者等は16ページの入開札一覧表のとおりであります。

工事の内容でございますが、南部小学校の教室8室及び管理諸室4室、並びに、南部中学校の教室8室、管理諸室5室、ランチルーム及び図書室に、空調設備を設置するとともに高圧受電設備であるキュービクルを改修するものであります。

工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和5年3月20日までです。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第75号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第75号は原案のとおり可決されました。

◎議案第76号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第14、議案第76号「工事請負契約の締結について（南部町民体育館電気備設等改修工事）」を議題とします。本案について説明を求めます。社会教育課長。

○社会教育課長（柳久保正弘君） 説明資料の17ページをお願いいたします。

議案第76号「工事請負契約の締結について（南部町民体育館電気設備等改修工事）」についてご説明いたします。

契約の相手方でございますが、八戸市尻内町字新川下1番地8、株式会社山下電業、代表取締役、川崎三春。請負代金は5,126万円。落札率は95.34%。条件付一般競争入札で行われ、入札業者等は18ページの入開札一覧表のとおりであります。

工事の内容でございますが、水銀灯製造中止に伴う体育館競技場、コート内照明68台、観客席8台、観客席非常灯7台のLED化と、これに伴う撤去工一式、電波法関連法に対応する放送設備の更新、競技場と玄関ホール窓への網戸取付け、競技場監視カメラ設置の建築工事一式であります。

工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和5年3月17日までです。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第76号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。
議案第76号は原案のとおり可決されました。

◎議案第77号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第15、議案第77号「財産の取得について（小中学校空気清浄機）」を議題とします。本案について説明を求めます。学務課長。

○学務課長（西館昌男君） 説明資料の19ページをお開き願います。

議案第77号「財産の取得について（小中学校空気清浄機）」についてご説明いたします。

契約の相手方でございますが、八戸市卸センター二丁目6番10号、エスティー株式会社、代表取締役、加藤光男。売買代金は1,657万7,550円。落札率は66.55%であります。指名競争入札で行われ、入札業者等は20ページの入開札一覧表のとおりであります。

取得する財産の概要でございますが、小中学校12校に設置する空気清浄機153台でございます。

納入期限は令和5年1月31日までで、設置場所は小学校8校に98台、中学校4校に55台を設置するものであります。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第77号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 異議なしと認めます。

議案第77号は原案のとおり可決されました。

◎議案第54号から議案第69号までの上程、委員会付託

○議長(夏堀文孝君) お諮りします。

日程第16、議案第54号から日程第31、議案第69号までの令和3年度南部町各会計歳入歳出決算認定についての議案16件を、会議規則第37条の規定により一括議題にしたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 異議なしと認めます。

議案第54号から議案第69号までの議案16件を一括議題とします。

お諮りします。ただいま議題としました議案第54号から議案第69号までの議案16件については、委員会条例第6条の規定による議員全員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 異議なしと認めます。

議案第54号から議案第69号までの令和3年度南部町各会計歳入歳出決算認定についての議案16件については、議員全員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託して審査をすることに決定しました。

なお、決算特別委員会の委員長及び副委員長については、委員会条例第9条第2項の規定により、委員会で互選することになっております。委員長及び副委員長を互選するための決算特別委員会をこの席から口頭をもって招集します。

本日、本会議終了後、この議場において決算特別委員会を開催いたしますので、ご了承願います。

◎陳情第2号の上程、委員会付託

○議長（夏堀文孝君） 日程第32、陳情第2号「園や学校生活における、マスク着用が困難な子どもの人権を守ることおよび過剰な感染対策の見直しを求める陳情書」を議題とします。

本日までに受理した陳情1件は、会議規則第92条第1項の規定により、配布いたしました請願（陳情）文書表のとおり所管の常任委員会に審査を付託しましたので、報告します。

◎散会の宣告

○議長（夏堀文孝君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

なお、9月1日、午前10時から本会議を再開いたします。

本日はこれで散会します。

（午前10時59分）

令和4年9月1日（木曜日）

第111回南部町議会定例会会議録

（第2号）

第111回南部町議会定例会

議事日程（第2号）

令和4年9月1日（木）午前10時開議

第 1 一般質問

10番 中 舘 文 雄

1. 町のイベント事業に関わる課題と、常設会場の維持、管理整備について

4番 夏 堀 嘉一郎

1. スクールロイヤー制度の多様性ある可能性について

1番 工 藤 愛

1. 納税貯蓄組合について
2. 学校統合後の伝統文化に関する教育、教員の負担軽減について
3. ポケットパークの進捗、維持管理方法について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（16名）

1番	工 藤 愛 君	2番	松 本 啓 吾 君
3番	久 保 利 樹 君	4番	夏 堀 嘉一郎 君
5番	坂 本 典 男 君	6番	滝 田 勉 君
7番	西 野 耕太郎 君	8番	山 田 賢 司 君
9番	八木田 憲 司 君	10番	中 舘 文 雄 君
11番	工 藤 正 孝 君	12番	夏 堀 文 孝 君
13番	沼 畑 俊 一 君	14番	根 市 勲 君
15番	馬 場 又 彦 君	16番	川守田 稔 君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	工藤 祐直 君	副 町 長	佐々木 俊昭 君
総務課課長補佐	佐々木 朋治 君	企画財政課参事	金野 貢 君
交流推進課長	松原 浩紀 君	税務課長	下井田 耕一 君
住民生活課長	夏堀 勝徳 君	福祉介護課長	戸室 正樹 君
健康こども課長	夏坂 和徳 君	農林課長	石橋 一史 君
商工観光課長	北上 隆広 君	建設課参事	松橋 悟 君
会計管理者	藤嶋 健悦 君	医療センター事務長	岩間 雅之 君
市場参事	馬場 均 君	教育長	高橋 力也 君
学務課長	西舘 昌男 君	社会教育課長	柳久保 正弘 君
農業委員会事務局長	野月 正治 君		

職務のため出席した者の職氏名

事務局 長	舘崎 あつ子	総括主査	坂本 裕昭
主 事	柴田 和香		

◎開議の宣告

○議長（夏堀文孝君） これより第111回南部町議会定例会を再開します。

本日は大変蒸し暑くなっておりますので、上着を脱いでの審議を許可します。

本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付のとおりです。

（午前10時04分）

◎一般質問

○議長（夏堀文孝君） 日程第1、一般質問を行います。

今定例会より反問権の行使を認めます。質問の回数は3回までとし、制限時間は質問、答弁、反問を合わせて60分以内とします。なお、反問の回数に制限はありません。制限時間5分前になりましたらチャイムでお知らせします。質問者並びに答弁者は簡潔明瞭に発言願います。反問の際は、質問の内容確認をするものとし、質問者への考えを問うもの、及び反論は行わないようお願いいたします。また、通告外の質問は行わないようお願いいたします。

これより通告順に順次発言を許します。

10番、中舘文雄君の質問を許します。中舘文雄君。

（10番 中舘文雄君 登壇）

○10番（中舘文雄君） 質問に入る前に、先ほど町長からもコロナウイルス感染の経過が報告されましたが、私もおかげさまで三環の議長をしておりますして、検査の機会があつて検査をしました。陰性で、本日三戸町からも議員さんの方々も見えられておりますけれども、今日来ている方は全員検査して陰性の結果が来た議員さん方でございます。

それでは、質問に入ります。

私は定例会に臨むに当たり、まちの総合振興計画の中で、基本目標の柱の一つである、「産業

振興で活力と交流に満ちたまち」を目指して作成した政策の項目である、「交流を促進する観光・交流事業の振興」のうち、特に観光の振興の施策について、町長並びに担当課長に質問するものであります。

主な取組としては、既存観光・交流資源の充実、活用と、歴史・文化資源を活用した新たな観光振興を掲げて、実施している町内の事業や、イベントを町観光協会への運営委託事業として、あるいは構成団体への助成事業として進めていることは、ご承知のとおりであります。

いずれの祭りやイベントも目標を達成するために、協会や実行委員会、また各種団体の創意工夫により、町を代表するイベントや祭りとなっており、事業によっては50年以上の歴史を刻んでおり、それぞれの地域でスタートしたイベントは今や定着した感があります。ほかに、町内会や商店街等を中心とした祭りもまた、地域の活性化を目指して開催されていることも事実であります。

そのような中で、現在町観光協会に委託され実施されているイベントは9件あるわけですが、発足の過程を見聞きしますと、地域の神社の例大祭に合わせてスタートした祭りや、行政の政策の中でスタートしたもの、歴史や文化の継承などが要因となったものなどがあります。イベントを継続している中で、南部まつりのように企画内容が大きく変わってきたものもありますし、担当する実行委員会での検討の結果ですから、変更することも重要ではありますが、町の政策を推進する中で社会情勢も変わりますし、新たなイベント等も検討をする必要があるかもしれません。南部地区では、現在発掘調査が行われている、史跡聖寿寺館跡は将来史跡公園として整備が計画されているわけで、町を代表するイベント会場としてもふさわしい場所となるものと期待しております。近隣市町村でも、このような場所を利用して、一大イベントが行われていることを考えますと、今からでも検討が必要なのではないかと思えます。

一方で、恒例的に実施される町を代表するイベント会場の管理や整備も、来場する方々に与える影響も大きなものがあります。もちろん常設する設備の整備に当たっては、設備の利用の仕方にも十二分に配慮が必要なわけですが、恒例行事であれば常設のステージ等、検討の余地もあると思えます。

特に、南部町春まつりジャックドまつり等は、ステージを利用した企画が中心と見受けられますし、出演者にも配慮した設備、急変する空模様にも対応できる設備を整えて対応することも必要であると思えます。

これらのことから、町のイベント事業に関わる課題と、常設会場の維持管理、整備について、次のことを質問いたします。

1点目は、現在実施されている町のイベントの継続に関わる課題と、協議の必要性について、どのように考えておられるのかお尋ねいたします。

2点目は、新たな検討を必要とする事業の掘り起こしの必要性について、どのような認識を持っておられるのかお尋ねいたします。

3点目は、恒例のイベント会場の維持と整備について、どのように考えておられるのかお尋ねいたします。

以上、通告に従いまして質問してまいりました。町長並びに関係者の答弁を求め、質問を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 答弁を求めます。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） それでは、中館文雄議員にお答えを申し上げます。

まず、現在実施されている町のイベントの継続に関わる課題と協議の必要性についてのご質問であります。現在、当町の観光イベントは、合併前から受け継がれてきた8つのイベントに、平成28年度から実施している「あおり鍋自慢」を加え、9つのイベントを町観光協会へ委託し、実施しております。

その際には、地域のにぎわいの創出やコミュニティーの推進のほか、伝統芸能や文化資源の活用、また、多くの来訪者による観光交流の促進など、イベントを開催する意義や目的を共有しているところであり、前年度は、長引くコロナ禍により落ち込みがみられる地域の活力を取り戻すため、「規模を縮小しても各イベントを開催していただきたい」との方針を、また、今年度は、ウイズ・コロナの観点から「感染対策を万全に施し、コロナ禍以前と同様のイベントを各実行委員の皆様と前向きに検討していただきたい」との考えを提示させていただき、5月の名久井岳山開きと春まつりを皮切りに、これまで、ぼたんまつり、ジャックドまつり、南部まつりが開催されてきたところであり、各イベントの開催へ向け、ご協議いただきました町観光協会及び各実行委員会の皆様をはじめとする関係各位のご尽力に対し、深く敬意を表するものであります。

なお、観光イベントではございませんが、10月開催予定でありました町民運動会につきましては、参加の意向を示された町内が少なく、中止が決定されたところであります。

現在実施されているイベントは、冒頭申し上げましたとおり、そのほとんどが合併前から受け継がれてきたものであり、文化や伝統を次の世代に継承していくためにも、それぞれが抱えてい

る課題を乗り越えながら、また、各イベントの催事内容を再検証し、必要に応じ、見直しを協議していくなどの対策を講じながら、引き続き実施してまいりたいと考えております。

イベントの課題や協議の必要性といたしましては、関係者の高齢化や後継者不足、催事内容の形骸化など、各イベントにおいて、多かれ少なかれ課題を抱えていると伺っております。この課題につきましては、各イベント実行委員会を中心に、町及び町観光協会、また、地域の有識者も交え、地域の実情を踏まえた解決策を協議していく必要があると考えております。

次に、新たに検討を必要とする事業の掘り起こしの必要性についてであります。新たなイベントを実施するためには、そのイベントの開催意義や目的、また、継続的に実施できる内容であるか、あるいは、現行のイベントに組み込むことができるかなど、多角的な視点による協議が必要であると考えております。

最後に、恒例のイベント会場の維持と整備についてであります。一部のイベントにおいて、常設ステージの整備を望む声があることは承知しておりますが、利用頻度をはじめ、維持管理方法や設置経費の負担、また、景観への配慮などを踏まえ、その必要性を十分に検討する必要があると考えてございます。

中舘議員さんから、ジャックドまつり、また春まつり等々の会場のご指摘もいただきました。ここで一番私どももその様子を設けておりますし、いわゆる春まつり法光寺の会場でございます。観光協会会長さんとも今年の開催でステージが少し貧弱ではないかという話もさせていただきました。ただ、春まつりは年に1回の開催でありますので、ここに数千万円の会場設置というものは費用対効果からしてどうだろうか、こういう話もさせていただきながら、今後また関係者の方々とも協議はしたいと思っておりますが、今年のいわゆる会場については少し貧弱であったなというのは感じておりますので、次年度はもう少し幾ら仮設にしても、もう少し考える必要があるのではないかと考えてございます。

また、ジャックドまつりにつきましては、固定された会場になっておりますので、あそこは修繕等があれば修繕をしながら、現行で何とか活用したいと思っております。

また、今後の新たな事業の掘り起こし等でございますけれども、今年は商工会青年部さん、夜市を開催していただきました。非常にびっくりするぐらいの来場者があり、1回目はもう出店も出たんですけども、2時間半ぐらい並ばないと買えないと、こういう状況でもありました。2回目、3回目と行っておりますけれども、こういう若い人たちが頑張っているイベント、こういうものにつきましては町としても金銭的な部分だけではなく、人材的な出動が必要であれば、またそこも検討させていただきたいと思っておりますので、現在コロナ禍という中で、逆にいえば

ウイズ・コロナというふうにはマッチングしたイベントということは、逆に考えられるのではないかなと思っております。特に、キャンプ場が人気になっているということもございまして、そういう部分で当町の生かせる部分を探りながら、また既存のイベントにつきましては、あくまでも実行委員会の皆様の意見を尊重しながら、そして、町として要望する部分も含めながら、一緒になって盛り上げてまいりたいと考えてございます。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 再質問はありますか。中舘文雄君。

○10番（中舘文雄君） では、再質問をいたします。

私はこの問題を取り上げる時にですね、それぞれのイベント祭りがいつ頃から開催されているものか、ちょっと資料をめくりながら調べてきました。特に、さっき町長が触れられた春まつり会場となっている法光寺境内は、昭和31年に名久井岳法光寺が県立公園と指定され、そこを会場として名川時代から春まつりと称してきました。

ただ、私が最初にまずこのことでお聞きしたいんですけども、春まつりは南部町として最初のイベントであります。ですから、その会場は年間の町内の祭りその他をPRする会場でもあると、私はそう思っていましたので、今年の町長ちょっと触れましたけれども、今年のステージは単管組んでそれにブルーシートをかけたステージで行われておりました。私も議員になってから各祭りというかイベントにはできる限りですね、案内頂いたところには極力参加しながら全体を見てきたつもりであります。ですから、あまりにも貧弱で、これはやっぱり南部町の春まつりのステージ会場としては貧弱過ぎる。もう、すぐそう思いましたし、また、参加している方々とも意見交換した中で、例えば芸能保存会の会長は、「いや、踊りの名人は座布団1枚あれば踊れるんだ。それぐらい訓練しているから私は気にしません。」と言いながらも、ちょっと貧弱だなという話を聞きます。いろいろ話の中でですね、この問題をぜひ取り上げて、南部町として最初のイベント会場である春まつり、そしてまた1年間、これから南部町でこういうイベントがずっと開催されますよとPRする会場でも、ぜひ利用すべきだと思いますし、企画内容ももう少し検討してもらい必要があるんだろうという思いから、質問するものであります。

それで、特にあの会場はですね、農業観光の方々も、その日を境にして花見ウオークとか、そういうPRもしておりますし、それもまた、過去100年前後の町外からの参加者もあります。あまりにも貧弱な会場で、南部町の代表する祭りとしては、やっぱり会場も整備しておく必要がある

と。ただ、あそこは県立公園でもありますし、また法光寺の境内ということで、制限はあるかもしれませんが。ただし、検討はしてみる必要があると思いますので、その辺もう一度担当課長でも思いを聞かせていただきたいと思います。あれで十分なのか、私はちょっとやっぱりそこは問題があると思ったものですから、これ1点、まず再質問の中でさせていただきます。

それから、もう1つは町長触れなかったんですけども、聖寿寺館跡の史跡公園、ここはやっぱり平成26年にはあそこをこういう公園にしようと、図面までつくって検討した経緯があります。で、こういう形に造り上げましようと言ったら、宅地調査の結果、いろんなそれこそ東北一、日本でも珍しいというものが発掘されたということで、文化庁のほうからもう少し発掘に時間をかけて、発掘してからというような、お叱りではなく指導があったと私は聞いております。私もその当時は委員だったものですから、事細かくその辺について、公園の史跡公園の造り方、どういうものでどういう形にするかというのも図面も手元にありますし、そういう形で議論した経過ですから、ぜひここはですね、これからの南部町をPRするといいますか、その中には重要な場所になると思いますので、ぜひそこを中心にしたイベントをですね、今からでもどういう形のものであれば、町を代表するイベントになるか検討する必要があると思いますので、その辺のですね、協議会、検討委員会あそこは発掘調査、その他で委員会はありますけれども、庁内にもですね、やっぱり観光協会を含めてそういう委員会を立ち上げて、今から検討しながら。南部地区はですね、私も参加したことありますけれども、南部まつり前は、それこそ大名行列を中心にした祭りが繰り広げてきた場所であります。今は、人数その他なかなか確保が難しいということで、その行事はなくなっていますけれども、やはりせっかくの聖寿寺館跡という会場をですね、あれだけ金をかけて、町民の注目の下に発掘調査をしながら、将来の公園として整備しようという場所ですから、今からでもそういう検討が必要ではないかと思いますので、その辺についても再質問をしたいと思います。そういう考えがあるのか、ないのか。全然その辺はもう地域に任せるといことなのか。町としても私はリードして、ある程度火種はつくっておいて、こういう形をしたいんだけども何とかという形でやるべきではないかなと思いますので、その辺を質問いたします。

それから、私農村公園、特にジャックドまつりに行ったときに、あの下に農村公園、ジャックド公園ですか、整備された跡があって、今年行ってみたら整備がなされていないような状態でした。担当課長もいましたから、そのとき、これは誰がどういう形で整備しているんですかと聞いたら、前は造ったときはいろんな形でやっていたけれども、手つかずですということだったんですけども、まつり会場はそれなりのステージがあって、芝生ですから、なかなかいいんで

すけれども、やっぱりその周りもですね、一度やっぱり造ったら、維持管理というものをちゃんとした、定期的にといいますか、そういう体制もつくっておかないと、せっかくイベントに来てくれた来場者の方々が見てですね、草ぼうぼうのところ、ここだけはいいけれども周りがというようなことではなくて、行政で造った場所であるならば、やっぱり責任を持った維持管理というものを計画的にやっていく必要があるんだと思いますので、その辺についてもお考えあればお聞きします。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 町長。

○町長（工藤祐直君） それでは、私から答弁をさせていただきたいと思います。細部があれば、また担当課長のほうからも答弁をいたしたいと思います。

まず、ご指摘いただきました春まつりでございます。率直に、私も先ほど申し上げましたが、会場を見て、あまりにも貧弱であると。これは夏堀観光協会会長さんとも、顔を合わせた瞬間に同じような言葉を発したわけでありまして、職員との連携もちょっとできていなかったのかなと。会場についての説明というのは受けていませんでしたので、私どもも会場に行って、あまりの貧弱さにちょっとびっくりした次第でありますので、来年度しっかりそういう部分も、事前に協議をしながらですね、最低、今年のような会場は設置とらないように考えてまいりたいと思っております。

それから、春まつりでございますが昭和31年からということで、ほぼ私が生まれた年になるわけですけれども、非常に昔は三戸郡の中学校、法光寺駅伝、各校が参加して、全校生徒が大いに来て、保護者が大いに来て、非常ににぎわいを見せたお祭りで行っていただきました。3、4、5、3日間のお祭りであったわけですが、それからいろいろ社会情勢も変わってきまして、学校側のほうも、祝日の駅伝大会はできるだけ平日にしてもらいたいと、こういうお話が学校側からあったわけですし、平日に時期をずらしながら行ってきましたけれども、やはりあのお祭り期間だから、あれだけ集まったのだろうなと思っております。

そしてまた、私小さいときに非常に印象があるのが、5合目までは法光寺駅まで砂利道でした。その砂利道にいわゆる番号を書いてあって、その番号が書いてあるのを拾ってくると、境内で商品がもらえると。こういう、子供とすれば非常にこう楽しんだ、そういうやり方もあります。ですから、そういうのは今でも私はやれるのではと、舗装になっておりますけれども、十分子供も

楽しめる、そういうやり方というのはあると思いますので、これはもうまさにアイデア、工夫の仕方次第だと思っております。いろんな角度からまた検討していきたいと思っております。

それから、聖寿寺館跡の活用でございますけれども、今町のほうでは発掘調査が進んでおりまして、後に公園整備として進める計画で、検討委員の皆様、また学識者の方々、有識者の方々から協議をいただいているところでございます。ただ、発掘というのは、1回発掘して、1回埋め戻ししない限りは次のステップに進めないものですから、まだ、そこまでは少しお時間をいただかなければならないのかなと思っております。

ただ、議員ご指摘のように、教育委員会のほうでは発掘体験等々も行っております。そういう体験を組み合わせたイベントというのは、今の会場でもこれは可能であるのではないかなと思しますので、担当課のほうで、またいろいろな角度からですね、活用方法、また屋外でございますので、さほどコロナ感染を気にしなくても、そういうイベントが開催できるのではないかなと思っておりますので、また教育委員会のほうでも少し検討してもらうように進めてまいりたいと思います。

最後に、ジャックドまつりでございますけれども、先般も水害で公園が冠水し、冠水するごとに土砂、流木が流れ、そのたびに多額の金額を要するわけでございますけれども、そこは今回早めに災害対応をし、整備をし、祭り等々もそうなんですけれども、県のほうにお願いしている部分は、県道については、お祭り前に草刈り等を行ってほしいと、こういうお願いをしております。町としても町管理の部分は、やはりイベント前に整備をしていくということは、非常におもてなしする側としても、これは大事なことだろうと思っておりますので、今後、そういう部分をそれぞれの所管する担当課のほうでも、イベント前の整備というものを今後しっかり頭に入れていただいて、職員のほうも取り組んでもらうように周知してまいりたいと思います。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 商工観光課長。

○商工観光課長（北上隆広君） ご指摘の春まつりのステージでございますけれども、今年度、確かに貧相なステージでございました。限られた予算内で開催するため、やむを得ず会場設営費を縮減した結果がもたらしたものでございますけれども、イベントの開催目的でございます、来訪者をもてなすという観点から、やはりあのステージの装飾でありますとか、広さというのは改善する必要があるだろうというふうに考えております。

また、ジャックドまつりにつきまして、高台から見下ろせる公園のエリアだったと思いますけれども、そちらのほうもやはりイベントだけでなく、通常の公園は利用される皆さんがいらっしゃるわけでございますので、そういったところの管理も怠らないよう、見落とさないよう、これから進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） 建設課長。

○建設課参事（松橋悟君） ふれあい公園の草刈りの件について、私のほうから。ふれあい公園につきまして、建設課で管理担当しております。ジャックドまつりにつきましても、日常の草刈りはやっております、祭りに合わせて草刈りをしておりましたが、よろしくない部分があったということのご指摘を重く受け止めて、来年からはきちっと進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 社会教育課長。

○社会教育課長（柳久保正弘君） 史跡の公園関係についてのご質問でございますが、現在、今年度、仮称展示収蔵施設の整備を進めております。今年度は、基本計画を策定することで進めておりました。また、発掘のほうも現在進めておりますので、公園につきましては発掘の状況を見ながら、また勉強しながら、事業のほうを進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） ほかに質問ありませんか。中舘文雄君。

○10番（中舘文雄君） では、最後の質問になりますけれども、一応春まつりの会場であります法光寺ですけれども、あそこは山開きも同時に行われるということで、あの地区はですね、昔、昔というか、名川時代は、秋には月見ウオークを企画して、相当な人数が集まって、あそこで、法光寺から5号目まで夜ナイターで行って、月見を見るというイベントもやったことがありまして、なかなか好評だったと思っておりますけれども、なかなか継続するのが難しいので、途中でやめていますけれども、さっき町長一番最初の答弁の中で、常設の設備をしても1年に1回、これ

はイベント会場、大体ほとんどがそういう会場になっています。1回ですね、2回、3回使うというのはないんですけれども、ただ、あそこは最初も言いましたけれども、県立自然公園ということで、名久井岳には登山者もあの辺は通ります。法光寺も格式のあるお寺ということになりますから、逆に新たにですね、あそこどういふ活用の仕方があるかということもね、これはイベントは、今のイベントはイベントで考えなくてははいけませんけれども、ああいう場所をいかにして活用して、来町者を増やすか、人口交流の人口を増やすかということも、これは観光ではないかもしれませんがけれども、関係課とですね、相談しながら、どういう形でね、来町者を増やしていくかというところにも視点を置いていかないと。これだけ1回春まつりの踊りのために何千万円かけるというのは、確かに町長の言うとおりの無駄だという人もあるかもしれませんが、必要だという人もあるかもしれません。そこに見合ったステージで、そのステージで発表したいと思わせるようなステージをつくってあげるといふのも、一つの出演者から見ればですね、なかなかあそこで踊ってみたい、あそこで歌ってみたい、あそこで演技してみたいという、思わせるような場所を用意しておいて、どうぞというのも一つだと思います。

それから、金がかかりということですから、これは議長が観光協会長ですから、金出せばもっとよくやるという、口は出すな、金は出せという論法ではないんですけれども、やっぱりいかに有効に活用するかということですね。やっぱり、たまにはそういう会場で来場者のアンケートか何か意向、意見を聞く機会っていうのも、これも私は必要だと思います。来て見てですよ、やっぱりつまらないと書かれるのか、いやここはこうだって書かれるのか、その辺を参考にするというのも一つかと思しますので、ちょっと手間がかかるかもしれませんが、やっぱりイベント会場でそういう一つの工夫も、これは担当課として、実行委員会にそれをやらせるのではなくて、担当課としてそういう機会もつくってみる。これ、ちょっとあれですけども、議会でも成人式に成人からアンケートを取るといふことをやっている自治体もあります。そのまちに対する期待、議会に対する期待ということ、成人式の会場でアンケートを取って調べて、それを行政のほうでも利用する、活用するといふようなことをやっている自治体もありますから、イベントもですね、綿々と同じことを繰り返すのもいいでしょうけれども、やはり内容を変えていく、そのためにはこういう意見があるということ、聞きながら変えていくことも必要かと思えます。

ちょっと範囲が広がってしまいましたけれども、今、特に聖寿寺はですね、ぜひ、さつき町長も教育委員会等でももう少し検討してみたいということですけども、やはりそれほど採掘にあと10年も20年もかかるのであれば、これは我々の時代ではないかもしれませんが、ある程度活用できる範囲内でイベント、少しずつこう広げていくという、最終的にはこういうイベン

トをあそこでやるんだという構想もですね、青写真、それもやっぱり私は必要ではないかと思えますので、その辺について、ちょっと一つ大きな構想といいますか。

それからもう一つ、イベントその他に、ここに力点を置いた、このイベントはここに力点を置いたイベントにしてもらいたいという行政としての要望といいますか、観光協会に委託する金を出す以上はですね、ある程度、このイベントではこういうものを宣伝しながら、こういう形でぜひイベントを盛り上げてもらいたいという要望の機会はあるのかどうか。その辺、もし担当課のほうで答弁できればお願いしたいんですが、そういう機会、その全体を構成するときですね、行政のほうからのそういう要望といいますか、そういうものをどういう形で観光協会のほうに伝えているのかどうか。その辺のところも、一つ質問いたしたいと思えます。

○議長（夏堀文孝君） 町長。

○町長（工藤祐直君） では、私最初に法光寺の会場につきまして、私の考えを述べさせていただきたいと思えますけれども、私も中館議員さんもお祭りおりました。そこで関係する方々、私もお話をさせていただきまして、中館議員さんもその方のお話を聞いていたの、私も聞いてございました。

ただ、職員のほうがある程度予算を、大まかでございますけれども計算した場合に数千万円、また、その方も法光寺さんにマッチした会場であれば、中途半端なものではできないでしょう、それなりのやっぱり会場にしなければならぬでしょうというお話も私も直接聞きましたし、そういうときに、住民の方々が正直年に1回です、今は。そこに数千万円というのを、住民の方々が逆に許していただけるものなのかという部分は、私は強く思っております。立派なほうが誰でもいいと、これは聞けば言うと思えます。ただ、そこで費用対効果、ここに数千万円、これを理解していただけますかと、こういう部分まではっきり財政的な部分まで示しながら聞いた場合には、私はさほど賛同してくれる方は少ないのではないかなと思っております。

それとあわせて、あそこ、東北最大級の三重の塔がございます。立派な園周囲もあります。散策には最適です。また、夫婦杉だったと思えますけれども、そういう杉もあの境内にはあります。あと、また当然名久井岳登山があるわけですので、そういう部分での誘客というものを私は年間を通じながらやっぱり図っていく必要があるのではないかなと思っておりますので、また新たなイベントの設置につきましては、十分検討させていただきますが、かなりハードルが高いのではないかなという気は、私自身はしているところでございます。

私からは、以上とさせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 商工観光課長。

○商工観光課長（北上隆広君） それでは、私のほうからは各イベントの独自性と申しますか、そういったことに対してのお答えを申し上げたいと思います。

それぞれ各イベント、開催に至った経緯でありますとか、議員ご指摘のとおり政策として始めたイベントもございます。それらはやはりこれからも引き続きその目的、意義は達成していかなければならないものでございますけれども、去年、昨年と今年に限って言えば、申し訳ございませんでした。開催することにまず意義を見出してきたものでございますので、これから今後コロナ明けとなりますと、やはり通常の日常に戻るわけでございますので、それぞれの各イベントが持つ本来の開催目的でありますとか意義を、観光協会をはじめとしまして、各実行委員会の皆様と十分検討していかなければならないと考えてございます。

以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） これで中舘文雄君の質問を終わります。

次に、4番、夏堀嘉一郎君の質問を許します。夏堀嘉一郎君。

（4番 夏堀嘉一郎君 登壇）

○4番（夏堀嘉一郎君） 本日は豪雨の中、三戸町議をはじめ、数多くの方々に傍聴していただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、質問いたします。

スクールロイヤー制度の多様性ある可能性についてであります。

世の中は今、コロナ禍や戦争、物価高や異常気象による自然災害など、今までに経験をしたことのない恐るべきことが各地で頻発して、全世界が混沌とした状況に陥っていますが、我が日本においても同様であると考えます。

約10日前の日本では、15歳少女の刺傷事件があり、親子2人が被害者となってしまいました。その少女が語った犯行動機は目を疑うほどの内容となっており、理解の範疇を超えていました。被害に遭われた方々の恐ろしさや無念さを考えますと、いたたまれない気持ちでいっぱいになりますが、加害者となった15歳の少女の心の奥底にある悲痛な訴えというものを、私たち大人が伺

い知ることができていない恐ろしさ、またその恐ろしい事件が実社会で起きてしまっているとても危険な社会に、子供たちも立たされているということを痛感いたしました。

被害に遭われたご家族に対しまして、心からお見舞いを申し上げたいと思います。

また、先般発行された地方紙にも、目を疑う衝撃的な記事が掲載されていました。2020年に行われた国勢調査において、最終学歴が「小学校卒業」の人を初めて調査をしたところ、2020年10月時点で約80万4,000人いたことが判明して、青森県は約2万2,000人となっていました。

私は、義務教育は全国民が受けているもんだという先入観のために、その事実の理解に少し時間がかかってしまいましたが、その事実以上に驚いたのが、30代以下の若い人が当時のいじめや不登校、それによる引きこもり、親のネグレクトなどで小中学校に通えず、「小学校卒業」が最終学歴になっていたこと、そして、そのいじめの問題が長い間置き去りにされていることを思い知らされました。

未解決のまま長期化し深刻化してしまったこのいじめの問題は、前述の少女の事件の犯行動機にも影響しているようですが、それは今後さらにスピードを上げて多様化し、連鎖反応をし続け、驚異的な病魔となってしまうかもしれない危険性を感じたことから、今回スクールロイヤー制度というテーマを取り上げ、全面的な問題解決のために質問をするものです。

学校内でのいじめや不登校、保護者からの過度な要求への対応、教員の非違行為、給食費の滞納等々、様々な法的問題を伴う学校現場のトラブルに対し、弁護士が指導・助言を行うシステムのことをスクールロイヤー制度とありますが、現在青森県では県弁護士会の協力を得て、6人の弁護士をスクールロイヤーに委嘱して、県内6地区に配置しており、昨年7月から相談を受け付け、2月末現在で19件の相談が寄せられたそうです。

発足したばかりのこの制度は、明確な立ち位置や業務範囲が半ば不透明であり、自治体によって対応範囲や業務内容が異なるため、役割の明確化の作業が急務であることや、学校を法的に守り校長権限を法的に強化しなければならない反面、一方では子供の最善の利益の観点から、時にはその学校との対立を辞さない場合もあることなど、今一度理念も明確化しなければならないところがあります。

しかし、このような未成熟な制度であるにもかかわらず、全国各地の自治体では、この制度を導入して教職員の精神的な負担を和らげてあげていることや、法的な知見を活用して適切に問題の解決を図ろうとする環境を整備していることなどの取組を踏まえ、この制度に可能性を感じ、希望を寄せていることを察することができます。

さて、前回の6月定例会において、私は「ヤングケアラーを早期発見するために、認知されに

くくしている家庭内のプライバシーの壁をどのように乗り越えて支援するのか」という一般質問をしましたが、昨今スクールロイヤー制度の存在を知ったことで、より効果的に最善の解決策を期待できると思いました。

教職員や地域の方々が介入することができない家庭内のプライバシーについては、法律家という立場を利用して、子供の状態を探ることが可能になると思われますし、時に思わしくない状態を探り当てた場合は、即座に法的に手続きを進めて、子供を救出することが可能になると思います。

この方法はいじめの問題や、親のネグレクトなどにも効果が期待されますし、家庭内のプライバシーだけではなく、しっかりとしたシステムづくりをしていくことになれば、様々な場面で応用させることが可能になると考えます。

また、これを遂行させるためには、現場の教職員が生徒の異変をキャッチし、直ちにスクールロイヤーに相談することがポイントとなります。

保護者からの過度な要求への対応や、給食費の滞納等の対応は、スクールロイヤーに相談すれば解決の糸口が見えてくると思われますし、何より相談先があることで教職員が安心するようです。

教員の非違行為の対応は、身内の問題であることと法的なことが関わってきますので、やはりスクールロイヤーが必要になります。

以上のことを踏まえまして、これまで長きにわたり全国各地で数多くの議論を交わしてきたいじめの問題は、いま一つ思うような成果には結びついてきませんでした。今回新たに提言された法律の番人の立場を活用したこのスクールロイヤー制度に対しては、私は大きな期待と可能性を感じていますが、当町はどのように捉えていますでしょうか。

諦めかけていた学校の諸問題の解決に風穴を開け、教職員の精神的負担を軽減させることが可能になるなど、多様なスクールロイヤー制度の当町の今後の活用方法を伺いたいと思います。

さて、最後になりますが、この夏、全国高校野球選手権大会において仙台育英高校が「白河の関」を越えて初めて深紅の大優勝旗を東北の地にもたらし、私たちに感動を与えてくれました。東北人を熱くしてくれたこの試合の後に行われたインタビューで、「青春って、すごく密なので。」という同校の監督のスピーチが日本中で話題となりましたが、私自身も強く心を動かされて熱い感情がさらに大きくなったことを今でも思い出します。とにかく毎日が大切に、1日1日が貴重で、仲間と過ごした私の高校生活は確かに「密」の連続でしたが、今のこのコロナは、その多感な時期の高校生の大切な「密」を容赦なく堂々と奪っているんだということを、監督の言葉で気

づかされました。

また、監督のスピーチのように、計り知れない何かを犠牲にして頑張っている全国の高校生に拍手を送りたいですし、はかなくて尊いはずの100%の青春時代を経験していない高校生たちに対して、できる限りのサポートをしてあげたいという親心のような感覚を抱いたのは、私だけではないと思います。

今こそ若き日に青春を謳歌した私たち大人が、今頑張っている高校生をはじめ、全国の学生や児童たちのために気力、体力、知力の全てを振り絞って、もう少しだけ踏ん張っていかうではありませんか。

今回のテーマであるスクールロイヤー制度は、その大人たちの知力で提案されたもので、ヤングケアラーの問題と同じように、基本的には地域社会全体で子供たちを守る環境が重要になり、その環境づくりのためにはやはり大人たちの気力、体力が不可欠になります。

これまで姿なきコロナと厳しい戦いをしてきた私たち日本人の大人たちなら、必ず姿なきいじめ問題を解決できると信じて、質問を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 答弁を求めます。教育長。

（教育長 高橋力也君 登壇）

○教育長（高橋力也君） 夏堀嘉一郎議員にお答え申し上げます。

スクールロイヤー制度の多様性ある可能性についてお答えいたします。「スクールロイヤー」とは、いじめや不登校など、学校で発生する様々な問題に係る保護者からの要望や、それに起因するトラブルなどについて、児童・生徒にとって、最適な教育環境を維持することを念頭に、教職員の負担軽減を図るために、学校等に対し、法的な観点から指導・助言を行う弁護士のことです。

青森県教育委員会では、夏堀議員よりありましたように、令和3年7月から法務相談体制整備事業を開始し、県内6地区に「スクールロイヤー」を設置しており、その活動内容は、先に申し上げました学校及び市町村教育委員会からの法務相談への対応のほか、教職員を対象とした研修会及びいじめ防止教室の講師も担っております。

県教育委員会によりますと、令和3年度の相談件数は、県内全域で延べ22件、令和3年度で22件であります。三八管内では5件であり、新聞報道によりますと、活用した学校関係者は「法律の専門家に気軽に相談できて心強い」「教職員の負担を少なくすることにつながる」と、歓迎の

声を上げているとのことでありました。

当町におけるスクールロイヤーの活用実績はございませんでしたが、まずは、いじめ等に起因する保護者とのトラブルを発生させないことが肝心でありますので、教育委員会として各学校の教職員に対し、いじめ防止等に係る児童・生徒への効果的な指導を促すとともに、令和4年6月定例会において夏堀議員からご質問のありましたヤングケアラー問題に対する町長答弁にありましたように、児童・生徒から発信される小さなSOSに、身近な存在である教職員が気付いてあげることも、トラブルの発生防止の面において重要であると考えているところであります。

しかしながら、多様化する学校への要望等により、仮にトラブルが発生した場合には、問題が大きくなる前に相談することも早期解決と教職員の負担軽減につながるものと思いますので、必要に応じて「スクールロイヤー」制度を活用してまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（夏堀文孝君） 再質問はありませんか。

これで夏堀嘉一郎君の質問を終わります。

ここで11時15分まで休憩します。

(午前10時59分)

○議長（夏堀文孝君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午前11時15分)

○議長（夏堀文孝君） 一般質問を続けます。

1番、工藤愛君の質問を許します。工藤愛君。

(1番 工藤愛君 登壇)

○1番（工藤愛君） 本日はここに質問の機会をいただきまして、ありがとうございます。

今日は防災の日ということで、改めまして今夏の豪雨災害で被害に遭われた方へ衷心よりお見舞い申し上げます。また、夜を徹して対応に当たられた町職員の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。私たち議員も、災害時にどのようなお力になれるのか、今後議論を進

めていきまして、少しでも町民の力になれるように尽力していきたいと思っております。

また、本日は多くの方に傍聴いただきまして、誠にありがとうございます。三戸町議会の皆様はユーチューブ配信、それからSNSでも活動報告等、開かれた議会という意味で、とても積極的な取組をされております。今後も議会改革特別推進委員の一員として参考にさせていただきながら、お互いに研さんしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、通告した質問に入らせていただきます。

まず、1つ目の質問は、納税貯蓄組合についてです。

納税貯蓄組合は、昭和26年に制定された納税貯蓄組合法に基づき設置されています。

法の目的は「容易かつ確実な税の納付」です。現代では、口座振替やコンビニ決済、マイナンバーカードの普及による各種手続の簡略化が進んでいます。また、個人情報保護やプライバシー保護という考えも生まれ、地域内でも声をかけ合うことが難しくなったという時代の変化もあります。

県内でも、3つの市や町が既に制度を廃止しています。階上町が平成17年、おいらせ町が平成21年に制度を廃止、五所川原市が平成26年に奨励金を廃止したところ、ほとんどの組合が解散しました。いずれの自治体も組合員に対し丁寧に説明を尽くしたことで、大きな反発や混乱なく解散に至ったとのことです。当町においても絶え間なく行財政改革を進める必要があると考え、以下の質問をいたします。

納税貯蓄組合は、税収を確保し、町政を運営していく上で多大な貢献をしてきた歴史があります。しかしながら、個人情報の取扱い、現金取扱いにおける事故の懸念等から制度を廃止した自治体もあります。当町における現状と今後の見通しについて伺います。

1つ目、税収における口座振替の割合、また、町内の納税貯蓄組合数、組合員数、加入世帯数の全数に占める割合をお示し下さい。

2つ目、納税奨励金の総額と各組合の用途についてお伺いします。

3つ目、制度見直しの可能性について見解を伺います。

次の質問です。学校統合後の伝統文化に関する教育と、教員の負担軽減についてお伺いします。

学校統合に当たっては、10月に各学校で閉校記念式典が計画されています。「いよいよ閉校してしまうんだ」という、胸が締めつけられるような思いは、子供たちはもとより、卒業生である保護者、そして教鞭を執られた先生方の中にも強く迫っているものと思います。

このような中で、私が懸念していることを質問いたします。

1点目は、伝統文化に関する教育についてです。各学校では、その地域に根差した特色ある行

事が行われています。それらが、統合によって途絶えてしまうことがあってはなりません。幸運にも、この歴史ある豊かな南部町で生まれた子供たちが、町を好きになってほしいと思います。また、成長し、外の世界に出たときに自慢できるふるさとがあること、これが人生を豊かに過ごす上で大切であると考えます。

そして、もう一つの懸念は教員の負担増加です。第101回定例会一般質問で町内の主担任をする教員数をお尋ねしたところ、小学校は令和3年より16人減少するというご答弁がありました。能力ある先生が忙しさのために心身に不調を来し、休職あるいは退職を余儀なくされることは珍しくありません。町長、教育長のリーダーシップで先生方を守っていただきたいと思います。

以上のことから、次の質問をいたします。

来年度に控えた学校統合では、各学校において準備委員会を中心に話し合いが進められています。南部町で育つ子供たちが生き生きと学び、郷土愛をもって成長できるような教育環境を期待しています。

表題の項目は、特に町長、教育長のリーダーシップが必要であると考え、その方針を伺います。

1つ目、伝統や文化に関する教育についての方針はどのようなものでしょうか。

また、各学校の特色をどのように捉え、統合後も継承していくのでしょうか。

2つ目、教員の負担軽減についての方針をお示してください。

統合で受け持ちの児童・生徒数が増えることに対する負担軽減策はどのようなものでしょうか。

特に、文部科学省において示された「基本的には学校以外が担うべき業務」に関する当町における取組を伺います。

1つ目、登下校に関する対応について。

2つ目、放課後から夜間における見回り、児童・生徒が補導されたときの対応について。

3つ目、学校徴収金の徴収・管理について。

4つ目、地域ボランティアとの連絡調整について。

以上に対する取組も含めて、お答え願います。

最後の質問です。

ポケットパークの進捗、維持管理方法について伺います。

ポケットパークは総合計画において15か所の整備目標を掲げていますが、多くの子供たちが求めているのは「多目的に使える広い公園」だと考えます。

また、前回定例会の答弁で町長ご自身が「公園にトイレがないのが大変だ」という町民の声を

紹介されていまして。利用者の視点に立つと、ごく当たり前のことです。

よって、トイレがいつでも使える場所にならないような公園の整備計画は、修正も必要ではないかと考えます。

現在の整備進捗状況と計画見直しの可能性について。

また、維持管理については、誰が、どのように担っていくのか、お示してください。

以上の質問について、町長並びに関係各位の答弁を求め、私の質問を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 答弁を求めます。町長。

○町長（工藤祐直君） それでは、工藤愛議員にお答え申し上げます。なお、「学校統合後の伝統文化に関する教育、教員の負担軽減について」のご質問につきましては、この後、教育長から答弁をいたしますが、伝統文化の継承というのは非常に大事なことだと思っておりますので、各校の統合、合併前でありましても、それぞれが統合先で統合前の学校の伝統文化を継承して行っておりますので、基本的にはそういう考えになるものと思っております。部局が教育委員会になりますので、教育委員会と行政部局、町長部局しっかり連携を取りながら、また、それぞれ代表の方々の委員会もありますので、そういう方々の意見を集約しながら、しっかりと取り組んでまいりたいと考えてございます。

それでは、「納税貯蓄組合について」のご質問であります。平成25年12月定例会において同様の質問がありましたので、当時の数値と比較できるところは比較しながら、答弁申し上げたいと思います。

初めに、「税収における口座振替の割合、納税貯蓄組合数、組合員数、加入世帯数の全数に占める割合」についてであります。令和3年度の口座振替による納付は、利用者数で4,709人、全体の34.12%、件数で2万9,758件、全体の42.58%、税額で5億2,307万7,988円、全体の34.77%であります。

平成25年10月末時点は、口座振替利用者数は27%でありましたので、約7ポイント増となっております。

次に、納税貯蓄組合の「組合数」であります。名川地区が49組合、南部地区が22組合、福地地区が25組合の、合わせて96組合であります。

平成18年1月の合併時点では104組合、平成25年9月時点では100組合でありましたので、若干ではございますが減少が継続している状況にあります。

次に、組合に加入している「組合員数と世帯数」は、共有名義や未相続財産分を除いたものになりますが、組合員数は5,611人、全納税者の39.84%、世帯数は3,259世帯、全納税世帯の31.89%となっております。

次に、「納税奨励金の総額と各組合の使途」についてであります。 「町納税奨励規程」に基づき、令和3年度は、一般会計と国保会計を合わせまして、総額1,561万2,700円を交付しております。平成25年度は1,783万8,400円でありましたので、222万5,700円減となっております。

次に、「納税奨励金の総額と各組合の使途」についてであります。 「町納税奨励規程」において納税貯蓄組合が行う事業として、納税思想及び税制度の普及、納税通知書の配付及び納期内納付の指導、組合活動を通じた地域コミュニティの活性化と規定しております。これらに基づき、各納税貯蓄組合では納税奨励金を「総会、会議、研修会」の開催等のための事務経費に充てているほか、一部の組合ではありますが、地元町内会等と連携し、事業費の一部を負担するなど、地域コミュニティの「活性化」と「支援」のための経費に充てている組合もあります。

次に、「制度見直しの可能性について」であります。 当町の「納税貯蓄組合」や「納税貯蓄組合連合会」は、町税政に寄与する任意の団体であると認識しておりますので、「設立・解散」につきましては、町が制限することはありません。

また、「納税奨励金」につきましては、必要性を十分に考慮した上で、町が独自に交付しているものでございます。

令和3年度の収納率の比較になりますが、組合分の税額の収納率は98.9%、組合外の税額の収納率は96.2%と、組合分が2.7ポイント高くなっておりますので、町財政に対する納税貯蓄組合の貢献は大きなものになっております。

また、近年は、「一人住まいの増加」や「人と人とのつながりの希薄化」による社会不安が高まっており、地域に密着した事業が重要になってきております。納税貯蓄組合は、収納率を引き上げているだけでなく、人と人をつなげ、孤独感の解消や安否確認をも担うことができる、重要な役割を持った組織であると考えております。

したがって、納税貯蓄組合を支援する制度は、現時点では継続されるべきものであると考えておりますが、今後、安定財源の確保、納税奨励金交付の在り方やその使途、口座振替をはじめとした「納付手段の多様化」、地域コミュニティとの連携など、納税貯蓄組合を取り巻く環境は常に変化しておりますので、今後も状況を見極めて検討してまいりたいと考えております。

次に、ポケットパークの進捗、維持管理方法についてお答え申し上げます。

ポケットパークは令和2年3月に策定した第2期南部町まち・ひと・しごと創生総合戦略にお

きまして、令和2年度から6年度までの5年間で、整備する目標値を15か所として掲げております。現在の整備進捗状況ですが、令和2年度に3か所整備し、今年度は令和4年6月定例会において、一般会計補正予算にて3か所分を追加させていただき、当初予算計上分の1か所と合わせまして、4か所整備することで進めておりますので、今年度末には累計で7か所となる予定でおります。

ポケットパークについては以前に申し上げたとおり、小さなお子さんを持つ親御さんや高齢の方をはじめ、その地域の皆さんが気軽に歩いて行ける、身近な場所に遊具を備えた小公園として整備する考えで進めております。

工藤愛議員が考えておられているという多くの子供たちが求めている「多目的に使える広い公園」とは、遊ぶ・運動するのほか、集会・交流・災害避難所など多目的に利用できる公園のことと推察いたしますが、先ほど中舘議員さんの質問でも答弁しておりますが、将来的に聖寿寺館跡発掘調査が終わり、併せて公園としての整備の計画に、長期計画の中には入っております。ただ、ポケットパークとは整備目的が異なるものでありますので、ポケットパーク整備は現在の計画に基づいて進めてまいりたいと考えております。

また、ポケットパークの維持管理についてですが、町が設置する公園施設の管理は町の責務でありますので、ブランコやすべり台などの遊具や場所によっては設置するフェンスなど、町が管理してまいります。なお、日常における公園内の草刈りや清掃などは地域からのご協力により、良好な施設環境を保っていただけるよう各地域にお願いしてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解を賜りたいと思っております。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 答弁を求めます。教育長。

○教育長（高橋力也君） それでは、工藤愛議員にお答え申し上げます。

学校統合後の伝統文化に関する教育、教員の負担軽減について、まず、伝統や文化に関する教育についての方針として、各学校の特色をどのように捉え、統合後も継承していくかについてであります。令和5年4月の学校統合に向け、現在、各地区小学校及び福地地区中学校統合準備委員会が開催されております。

この準備委員会の中で、各学校教職員で組織されている学校運営部会により、各校の特色ある取組みを踏まえつつ、子供たちが郷土愛をもって成長できる教育環境をつくるため、伝統や文化

に関する教育の方針についても協議されているところであります。

教育委員会といたしましても、統合後の各学校における伝統や文化に関する教育は、児童・生徒が主体的、体験的、探究的に学び、取り組むことによって、地域に対する愛着が醸成されることはもちろんのこと、地域の方々とのつながりとその大切さを実感できることなどから、様々な面において重要であると認識しているところであります。

そして、伝統や文化に関する教育及び継承には、地域人材の力が必要であります。

現在、各学校におきましては、町独自の補助金である特色ある学校経営事業補助金を活用し、学校独自の判断で伝統文化に関する教育活動を行っております。これからも、学校はもとより地域の皆様のご協力をいただきながら、この伝統や文化に関する教育を継続し、さらに地域への愛着を深めるとともに、地域に誇りを持てる児童・生徒の意識の醸成に努めてまいりたいと考えております。

次に、統合で受け持ちの児童・生徒数が増えることに対する負担軽減策についてお答え申し上げます。

現在、教育委員会で行っている教員の業務負担軽減を考慮した最も大きな事業は、全学校へのスクールサポーター配置事業であります。

現在のスクールサポーターの配置状況は、各校1名から2名、名久井小学校のみ3名を配置し、児童・生徒の学校生活や授業への支援、教員の補助を行っているところであります。

令和5年度のスクールサポーター配置につきましては、名川中学校並びに南部中学校は今年度と同程度、統合する学校に関しましては、児童・生徒の数が増加することとなりますので、増員する計画としております。

また、学校統合を見据えた形で、児童・生徒の基本情報や出欠状況、学業成績、健康診断結果など、これまで主に紙媒体で対応していた事務等について、教員の負担軽減につながるよう、ICTの更なる活用として校務支援システムの本格稼働を計画しているほか、ICT支援員の配置を検討しております。

次に、文部科学省において示された「基本的には学校以外が担うべき業務」に関する当町における取組についてお答え申し上げます。

初めに、登下校に関する対応についてであります。現在、学校におきましては、児童・生徒の安全指導のため、学校教員、児童・生徒の保護者、交通指導隊、地域の方々及び学校に委嘱された見守りサポーターが連携を図りながら、登校時を重点的に見守り活動が行われているところであります。下校時に関しましては、小学校において教員が対応しております。

次に、放課後から夜間などにおける見回り、児童・生徒が補導された時の対応についてであります。名川地区、南部地区、福地地区にはそれぞれ、学校、警察、保護者、地域の方々と組織する学校警察連絡協議会等が組織されており、地域における祭り等のイベント、また、不審者情報があった場合など、教員及び保護者組織により、放課後から夜間の見回りを行っております。

なお、日常的な見回りは重点的には行われていない状況ではありますが、本年6月28日に誘拐予告がありましたときには、教育委員会職員を全小学校に配置し、警戒にあたったほか、不審者情報が寄せられたときは警察に連絡し、警戒強化を要請するなどしております。

また、児童・生徒が補導された時の対応につきましては、保護者対応が基本となりますが、保護者不在などの状況により学校に緊急連絡が入った場合には、担当教員及び管理職等での対応となります。その後は、再発防止やサポートのため、教育委員会、保護者、警察が連携を図ることとしております。

次に、学校徴収金の徴収・管理についてであります。町内の学校では杉沢中学校を除く11の学校で事務職員が配置されております。学級費や教材費、PTA会費など保護者からの徴収金は、学級担任を通じて事務職員によって集計され、学校長の保管または即日学校口座へ入金されます。このため、教員の負担は少なく、文部科学省から示されている学校徴収金の徴収・管理についての取り組みについては対応がなされているところであります。

なお、杉沢中学校に関しましては、在籍生徒数により事務職員の配置はございませんが、教頭による事務処理が円滑に行われております。

最後に、地域ボランティアとの連絡調整についてであります。町内の小・中学校では、伝統文化に関する授業のほか、絵本の読み聞かせや農業体験など、様々な場面で地域の方々と講師としてご依頼し、専門性の高い学習が行われていると認識しております。

なお、講師となられる地域の方々へのご依頼、連絡調整につきましては、各学校で学校と地域を結ぶ窓口となる教職員を定め、その教職員が中心となって連絡調整をしている状況にあります。

以上を踏まえますと、町内の学校及び教員の業務量につきましては、決して少ない状態にあるとは言えませんが、今後、学校における働き方改革を推進するためには、学校と保護者並びに地域が手を取り合い、ご理解とご協力をいただきながら、役割分担を進める必要があると考えております。教育委員会といたしましては、学校並びに地域全体で児童・生徒を育む、よりよい教育環境の提供を目指し、三者の連携のためのつなぎ役を担いつつ、今後の動向を見守りながら教員の負担軽減のための支援を行ってまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（夏堀文孝君） 再質問ありませんか。工藤愛君。

○1番（工藤愛君） ご答弁ありがとうございました。では、それぞれについて再質問させていただきます。

まず、納税貯蓄組合に関してですが、私も前回工藤久夫議員が質問された資料について、手元にご覧いただけます。その数値から見ると、比較されたものもあり、比較されなかったものも答弁の中でございました。口座振替利用者というのは、私が想像していたよりはちょっと低いのかなと、まだ34.一、二%ということで、まだまだ半数以下という数字でしたが、しかし、注目したいのは組合の人数ですね、組合の人数。納税義務者のうち、平成25年時点では67%の方が加入されておりましたが、現在は39.8%ということで、これは過半数にも満たないわけですね。この方たちに対してのみ本来国民全員の義務である納税の奨励金が渡るといえるのは、ちょっと制度の趣旨から言っていかがなものかなというふうに思います。

そこで、再質問ですけれども、こちら町長答弁の中に、こちらの活動の中には地域コミュニティーの活性化、人と人をつなぐ役割もあるというお答えがございました。ただ、これは本来納税貯蓄組合法の目的には入っていないものなんですね。本来の目的からずれているものだと思います。本来の目的である、納税につながるような活動としては、やはり直接干渉する、納税を呼びかけるような活動をですね、そういった活動が求められて制度ができたものと理解しておりますけれども、こちら戸別訪問などで、その納税貯蓄組合としての活動実態がある組合というのはどの程度なのでしょう。それを町のほうで把握されて、1,500万円もの奨励金が支払われていると理解できるのでしょうか。

ちょっと正直、この金額も私決算書を見ていたときに、納税奨励金という項目に1,000万円程度の計上がありましたので、そのぐらいなのかなと思っておりました。自分が思っていたよりもちょっと多かったもので、ちょっと見落としがあったのかと思います。

続いて、学校教育に関してです。

伝統文化の継承には、先生方のお力だけではなく、先ほど教育長答弁でもあったように地域の方の協力が欠かせないものと思っております。ただ、どの分野にも言えることですが、文化を身につけておられる方の高齢化、その負担の割合というのは年々大きくなっているものと思います。

そこで質問ですが、指導者の後継者ですね、次に指導者になるような方を育てるような取組がなされているのかどうか。また、現在指導者として関わっておられる方たちに、その特色ある教育として、町から予算を出している部分から恐らく謝礼金等も出していると思われそうですが、そちらどの程度支払われているものなのでしょうか。

次に、教員の負担軽減についてです。

今後、校務支援システム等を採用して、教員の事務負担を減らしていくというお答えがありました。非常に歓迎しているところです。当町では、学校教員の負担の割合を量るために、以前タイムカードを打刻してもらっているというようなお話がありましたけれども、そちらの調査結果のほうはどのようなものだったのでしょうか。私としては学校教育という人を相手にする仕事でありまして、なかなかタイムカードというものはなじまないというふうに個人的には思っているんですけれども、ただ、やっぱり休日出勤だとかそういったものは厳しく制限していく必要があるのかなというふうに思います。それが、結果的には先生と子供たちを守ることになるのかなというふうに思います。

そこで質問ですけれども、校務支援システムというのは具体的にどのようなものが先生の負担軽減になるのか。分かり得る範囲でお知らせください。

学校徴収金に関して事務員が配置されているので、教員の負担にはなっていないというお答えがあったんですけれども、こちら質問文にあるように、基本的には学校以外が担うべき業務というふうになっておりまして、事務員も学校内だと思っただけですね。教員以外と言っているわけではないんですよ。学校外と言っているんですよ、これは。つまり方法としてはいろいろあると思うんですけれども、先ほどの納税と同様に口座振替という方法もだんだんに取り入れていかないといけないのかなというふうに思っています。そちらをもし妨げている原因というか、そういうものがございましたら教えていただきたいと思っただけです。

3つ目の最後の質問について、ポケットパークについてです。

再三いろいろな場面でご質問させていただいておりますので、目的に関しては共有しているつもりでおりますが、ただ、やはり小さな子供、それから高齢者を対象にしている施設でトイレが近くにないというのは、やはり現実的ではないと思っております。こちらの公園でそもそも交流促進をするという目的で計画されておりますが、そちらについてはどのように検証される、結果について成果があったと、どうやって評価をするおつもりなのかをお知らせください。

現在までに、令和4年度までに7か所が整備されるということで、これまでも1か所当たり最低500万円という予算が組まれてきたわけで、多いところだとあずまやをつけるので1,000万円ぐ

らいつけたところもあるのかと思っております。今後、計画どおりあと8か所ですね、整備されるとなると、ちょっとその分の予算を先ほど言っていました、もうちょっと大きな施設、観光客にも向けられるような施設のほうに投資してもいいのではないのかなというふうに思っておりますが、その辺のお考えをもう一度お知らせください。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 町長。

○町長（工藤祐直君） では、私のほうからまずお答えする前に、納税貯蓄組合に関すれば、今議員からご指摘があった、一部組合の方々に奨励金が発生することについてはどうかというご質問だと思いますが、そういう当然考え方もある。今までもそういう議論は、私どももしてまいりました。ただ、納税貯蓄組合さんの場合、先ほども言いましたが、納税率がやはり高いということもありまして、現在完納奨励金について奨励金を出しているところであります。今のところはその形を保っていきたいと思いますが、先ほど申し上げました、いろいろな給付方法がさらに増えてくるだろうということも予想されますので、状況を見ながら検討する余地はあるのかなと思っております。

ただ、私も納税貯蓄連合会、またそれぞれ地区単位、名川、南部、福地地区単位の組織もあります。その都度、3か所、また、町でも4か所の総会等にコロナ禍前ですけれども、全部出ております。そこで、やはり組合長さん方から要望されるのは、納税組合としての活動にも使わせていただいて、皆さんが非常にそれをもって収納率も高い収納率を納めることができていると、こういう要望もいただいております。

今回、工藤愛さんからそういう指摘がありました。このコロナ禍の中で、そういう連合会さん等々の会がいつになるか、ちょっと予定は立ちませんが、あれば、工藤愛議員からもご指摘があったということは連合会さんのほうにもお話をさせていただいて、今度どうしていくべきかというのは検討はしてまいりたいと思います。

それから、ポケットパークでございますが、一つは議長に確認させていただきたいので、工藤愛さんから先ほどほかの公園に設置する考えのほうがいいのではないかというご質問がありましたので、反問権として確認をさせていただきたいものですから、許可をお許ししたいと思っております。

○議長（夏堀文孝君） ただいまの反問について、これを許可します。

○町長（工藤祐直君） それでは、許可いただきましたので、工藤愛議員、既存の現在ある公園等にトイレ等を設置したほうが良いということの先ほどのお話なのか、確認をさせていただいて、私のまた答弁をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○議長（夏堀文孝君） 工藤愛君。

○1番（工藤愛君） ただいまの反問にお答えさせていただきます。

私が考えているのは、トイレの維持というのも非常に負担、負担というか、財政的にという意味です。お金のかかる事業だと思っています。今ある公園、ポケットパークですとかにつけてほしいという意味ではなくて、既にある公共のトイレの近くにそういう設備をつけるべきではないかというのが私の意見です。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 反問に対する回答はいいですか。町長。

○町長（工藤祐直君） 了解しました。では、答弁をいたしたいと思っております。

ポケットパークの考えは、歩いて行ける程度、町内に子供、孫さんを連れて歩いて行けるというイメージで設置するのがポケットパークでありますので、ちょっと歩けば自宅のトイレにもまらず行けるだろうと、そういう考えでございます。まあ、ちょっと距離があるところもあるでしょうけれども、ずっと離れたところにポケットパークを設置するというのではない、町内会の中に設置してきておりますので、密接しているところに設置をしてきてございます。

それと、既存のちょっと広めの公園、多目的で使えるようなところには、トイレはもう設置してあります。ただ、個数的に十分なのかというと、これは例えばチェリリン村、距離的な部分、これは考えていく必要があると思っておりますけれども、そういう部分については現在設置ももうされて、また水洗化もしてきているということもご理解いただきたいと思います。

○議長（夏堀文孝君） 学校に関する答弁は、学務課長。

○学務課長（西舘昌男君） それでは、工藤愛議員のご質問にお答え申し上げます。

まず、それぞれの伝統文化の指導者が高齢化するに当たり、その後継者がどうなっていくのかということですが、それぞれえんぶり組、また神楽、あと手踊りなど、それぞれの組などにおいて、後継者を確保していることとしますので、指導者をまた引き継いでいくということは可能であると考えております。

また、謝礼につきましては、これは一例でございますけれども、えんぶりでございますけれども、10時間指導いただきまして1万円の謝礼をお支払いしているということでございました。ボランティア的にやっただいておりますので、大変ありがたいことだと考えております。

続きまして、校務支援システムの軽減される部分はどういうところかということでございますけれども、まず、先ほど教育長からもご答弁申し上げましたように、出欠状況とか学業成績、健康診断結果など、まず紙媒体でこれまで管理していたものがですね、名簿情報を入力することによって、それら全ての今まで紙媒体で用いていた資料全てに入力されることによりまして、名簿管理の事務負担の軽減にもつながるということでございます。

それから最後、学校徴収金の件についてでございますけれども、私も文科省からの通知確認させていただきましたが、学校徴収金の徴収管理については、事務職員等に業務委譲すべきでありという記述がございましたので、これについては事務職員が対応することは問題ないのかなと考えてございます。

以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） 口座振替に関しては、答弁は。

○学務課長（西舘昌男君） 申し訳ありません。

口座振替に関しては、検討してまいりたいと考えておりますけれども、仮に手数料等が発生するのかどうかといった部分もございしますので、その辺を研究しながら検討してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） 税務課長。

○税務課長（下井田耕一君） 私のほうから、2点お答え申し上げます。

納税貯蓄組合法には、コミュニティーの活性化云々はないということですが、町の納税奨励規定を根拠に交付しておりますので、何とぞご理解願いたいと思います。

次に、各組合の徴収方法の種類、どんな感じで徴収しているかというご質問ですけれども、徴収の係が臨戸、各戸回って徴収しているところが14組合あります。それに、その係の方に納税金を届けることになっている組合が3組合あります。それ以外、79組合が個別、個人ごとに納付していると、こういう状況でございます。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） ほかに質問ありませんか。工藤愛君。

○1番（工藤愛君） ご答弁ありがとうございました。

まず、納税貯蓄組合については、今96組合のうち14組合が実際に集金業務というんですか、収納業務を行っているということでした。この割合はどうなんでしょうかね、私は低いというふうに考えますけれども、それをやれという意味ではなくて、もはや必要がなくなっているのではないかなというふうな捉え方のほうが正しいのかと思います。実際ですね、組合の納付率が高いとおっしゃいましたけれども、組合内、組合の方が98%、組合外が96%というと、もう2%しか差がないことを考えると、組合の役割というのはやはり、もはや果たしたと考えるのが実際なのではないかなと考えております。

組合に関してもう一つ質問ですけれども、こちらは町内活動にも使われているということ、それは大いに結構なことだと思います、住民に還付することですので。ただ、使われずにそのまま貯蓄としてたまっているような部分もあるかと思うんですけれども、それに関しての規定ですとか、幾らまでだとかですね、あとは人に関しての制限等はあるのかどうか、お伺いしたいと思います。

それから、まず学校については分かりました。名簿管理というのはとても良いことだと思います。タブレットも導入されましたので、どんどん活用して、先生方の負担を軽減していただければと思います。

あと、最後にポケットパークに関してですけれども、これはもう当事者として訴えるしかないもので何度もお伝えしますが、町内会だとおっしゃいまして、こう人口が減少しますと、なかなか近くで子供たちが集まるということも、なかなか難しくなっております。実際には学校ですとか、学童ですとか、故意に集まった場所でない、もう子供たちが外で勝手に集まって遊ぶと

というような環境にはなくなりつつありますし、統合後は一層それが進んでいくものと思います。ですから、トイレは家のを使えばいいのだという考えではなくて、やはり今あるトイレの近くにある公園をもう少し更新してみよう、遊具が壊れているところを更新してみようとか、そういうふうにしてほしいと思っておりますが、今町長がおっしゃったチェリリン村だとか、そういった設備の中で今遊具更新の考えはないのかどうかというところをお伺いいたします。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 町長。

○町長（工藤祐直君） まず、納税貯蓄組合についてはいろんな考えがあるので、これは工藤愛議員の考えということで承って、いずれ納税貯蓄組合の連合会の方々ともお話はさせていただきたいと思っておりますし、ただ、すぐ来年以降ということは非常に難しいでしょうと。それぞれの組合、これは組合の個人に奨励金が入っているわけではありませんので、組合に入って、組合の活動の中で皆さんが活用しておりますので、これは非常に組合長さん方からすれば非常にありがたいという制度でもあると思います。ただ、一方では工藤愛議員のような考え方もありますので、奨励金がなくなった場合、組合としてのコミュニティー活動、様々な活動の予算がなくなりますよと、こういう部分も両方お知らせして、検討してまいりたいと思っております。工藤愛議員はそういう考えということも、しっかりとお伝えはしたいと思っております。

ポケットパークですが、これは決して既存の公園等にトイレがないと先ほども言いましたが、ないわけではなくて、むしろ増やしながら水洗化に替えてきているんです。だから、ポケットパークを整備したからそっちを無視していると、そうではなくて、私は両方整備して、車で十分行ける方々、歩いてちょっと孫を連れながらブランコ、すべり台させてという、そういうイメージがポケットパークですので、そういう部分で両方で進めているということで考えておりますので、何とかご理解をいただければと思っております。

○議長（夏堀文孝君） ほかに答弁は。税務課長。

○税務課長（下井田耕一君） 先ほどのご質問で、使われずに貯蓄されている奨励金に関しましては、奨励金ですので、町のほうで用途に制限はかけておりません。最近のコロナ禍の状況ですので、総会等を開けないで奨励金がたまっている、どうすべきか？という問い合わせはあります

けれども、コロナ禍の時期、言わばこの時期だけの問題であると思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） これで、工藤愛君の質問を終わります。

◎散会の宣告

○議長（夏堀文孝君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

なお、9月6日は午前10時から本会議を再開します。

本日はこれで散会します。

（午後0時07分）

令和4年9月6日（火曜日）

第111回南部町議会定例会会議録

（第3号）

第111回南部町議会定例会

議事日程（第3号）

令和4年9月6日（火）午前10時開議

- 第 1 議案第 54号 令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第 2 議案第 55号 令和3年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 3 議案第 56号 令和3年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 4 議案第 57号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 5 議案第 58号 令和3年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 6 議案第 59号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 7 議案第 60号 令和3年度南部町病院事業会計利益剰余金処分の議決及び決算認定について
- 第 8 議案第 61号 令和3年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 9 議案第 62号 令和3年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 10 議案第 63号 令和3年度南部町営地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 11 議案第 64号 令和3年度南部町大字上名久井財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 12 議案第 65号 令和3年度南部町大字平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 13 議案第 66号 令和3年度南部町大字平字下平外14字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 14 議案第 67号 令和3年度南部町大字下名久井字田端外17字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 15 議案第 68号 令和3年度南部町大平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 16 議案第 69号 令和3年度南部町名久井岳財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 17 議案第 70号 南部町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 第 18 議案第 78号 令和4年度南部町一般会計補正予算（第6号）
- 第 19 議案第 79号 令和4年度南部町学校給食センター特別会計補正予算（第2号）
- 第 20 議案第 80号 令和4年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）
- 第 21 議案第 81号 令和4年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 第 22 議案第 82号 令和4年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 第 23 議案第 83号 令和4年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 第 24 議案第 84号 令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- 第 25 陳情第 2号 園や学校生活における、マスク着用が困難な子どもの人権を守ることおよび過剰な感染対策の見直しを求める陳情書
- 第 26 常任委員会報告
- 第 27 委員会の閉会中の継続調査の件
- 第 28 議員派遣の件

本日の会議に付した事件

議事日程と同じ

出席議員（16名）

1番 工藤 愛 君	2番 松本 啓吾 君
3番 久保 利樹 君	4番 夏堀 嘉一郎 君
5番 坂本 典男 君	6番 滝田 勉 君
7番 西野 耕太郎 君	8番 山田 賢司 君
9番 八木田 憲司 君	10番 中舘 文雄 君
11番 工藤 正孝 君	12番 夏堀 文孝 君
13番 沼畑 俊一 君	14番 根市 勲 君
15番 馬場 又彦 君	16番 川守田 稔 君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長 工藤 祐直 君 副町長 佐々木 俊昭 君

総務課参事	久保田 敏彦 君	企画財政課参事	金野 貢 君
交流推進課長	松原 浩紀 君	税務課長	下井田 耕一 君
住民生活課長	夏堀 勝徳 君	福祉介護課長	戸室 正樹 君
健康こども課長	夏坂 和徳 君	農林課長	石橋 一史 君
商工観光課長	北上 隆広 君	建設課参事	松橋 悟 君
会計管理者	藤嶋 健悦 君	医療センター事務長	岩間 雅之 君
市場参事	馬場 均 君	教育長	高橋 力也 君
学務課長	西舘 昌男 君	社会教育課長	柳久保 正弘 君
農業委員会事務局長	野月 正治 君	代表監査委員	山口 裕貢 君

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	舘崎 あつ子	総括主査	坂本 裕昭
主 事	柴田 和香		

◎開議の宣告

○議長（夏堀文孝君） これより第111回南部町議会定例会を再開します。
本日の会議を開きます。
議事日程はお手元に配付のとおりであります。

（午前10時01分）

◎議案第54号から議案第69号の委員長報告、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第1、議案第54号から日程第16、議案第69号までの令和3年度南部町各会計歳入歳出決算認定についての議案16件を会議規則第37条の規定により一括議題とします。

本案については、決算特別委員会における審査が終了しておりますので、ここで委員長の報告を求めます。決算特別委員長、山田賢司君。

（決算特別委員会委員長 山田賢司君 登壇）

○決算特別委員会委員長（山田賢司君） おはようございます。

決算特別委員会の審査結果をご報告いたします。

8月30日の本会議において、本委員会に審査を付託されました議案第54号から議案第69号までの令和3年度南部町各会計決算認定16件につきましては、9月2日及び5日に本委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

審査の結果ですが、議案第54号から議案第69号までの議案16件は、全会一致により全て原案のとおり認定することに決定しました。

以上で、決算特別委員会の報告を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 決算特別委員長の報告が終わりました。

委員長報告に対する質疑は省略し、これより討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第54号「令和3年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について」から、議案第69号「令和3年度南部町名久井岳財産区特別会計歳入歳出決算認定について」までの議案16件を一括して採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長報告のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 異議なしと認めます。

議案第54号から、議案第69号までの議案16件は、原案のとおり認定されました。

◎議案第70号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(夏堀文孝君) 日程第17、議案第70号「南部町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。総務課長。

○総務課参事(久保田敏彦君) それでは、説明資料の5ページをお開き願います。

議案第70号「南部町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」ご説明いたします。

地方公務員の育児休業等に関する法律等が、令和4年10月1日に施行されることに伴い、所要の改正を行うものであります。

内容としましては、(1)の育児休業の取得回数制限の緩和等に関するものとして、育児休業の終了後に同じ子供について再度取得するためには、これまでは前もって計画書を提出する必要があったものを、計画書そのものを不要とするものであります。

(2)の非常勤職員の子の出生後8週間以内の附則要件の緩和に関することについては、5ペ

ージ下の図のとおり、これまでは子供が1歳6か月になる前に任期が満了する場合は取得できないとされていましたが、取得できない期間を8週間と6月に短くするものでありまして、丸印の期間が緩和されるものであります。

資料の6ページをお開き願います。

(3)の非常勤職員の子が1歳以降の育児休業の取得の柔軟化としましては、資料の6ページにイメージ図を示しておりますが、1歳以降の育児休業について、例1や例2のように開始時点を柔軟化することで、夫婦交代での取得を可能とするものであります。

その他、所要の改正をするもので、施行日は令和4年10月1日であります。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第70号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第70号は原案のとおり可決されました。

◎議案第78号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第18、議案第78号「令和4年度南部町一般会計補正予算（第6号）」

を議題とします。

本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課参事（金野貢君） それでは、議案書をご準備いただきまして、67ページをお開き願います。

議案第78号「令和4年度南部町一般会計補正予算（第6号）」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額に4億6,356万8,000円を追加し、予算総額を121億6,949万9,000円とするものでございます。

72ページをお開き願います。

上段の第2表、地方債補正は臨時財政対策債の発行可能額が確定したため、限度額を6,580万8,000円に減額するものでございます。

下段の第3表、債務負担行為補正は令和5年度における南部町包括業務に係る契約事務を年度内に行う必要があることから、限度額を1億340万円と定め、債務負担行為に追加するものでございます。

82、83ページをお開き願います。

歳出の主なものから説明いたします。

ページ中ほどの2款1項1目一般管理費の11節役務費は、7月上旬、職員に新型コロナウイルス感染者が複数発生したことから、来庁者への感染を防ぎ感染拡大による業務の停滞を招かないよう、職員に対し抗原検査を実施したため、検査手数料として165万円を追加。

下段の6目企画費の10節需用費は、町と連携協定を締結している弘前大学学生の食生活支援として、達者米1トンを送るため50万円を追加するものでございます。

84、85ページをお開き願います。

上段、2款1項総務管理費の2行目、9目自治振興費は虎渡公民館の床修繕のため110万円を追加、同じく総務管理費の4行目、11目情報化推進費は住民票や印鑑証明書のコンビニ交付が可能となるよう、基幹システムの改修を行う経費として1,320万円を追加するものでございます。

ページ下段、2款3項1目戸籍住民基本台帳費でございますが、次のページをお開き願います。現在進めておりますマイナンバーカードの普及促進事業に関し、申請者が郵送でカードを受け取れるようにするため、11節役務費に79万円を追加し、財源として国庫補助金を充当。また、12節委託料は商工会にお願いをしております商品券の清算業務に関し、事務量が增大するため、委託料として75万4,000円を追加するものでございます。

88、89ページをお開き願います。

下段、3款2項1目児童福祉総務費は、県単独事業の子育て世帯臨時特別給付金として18節補助金に5,000万円を追加するほか、3節から11節まで事務費を追加し、財源として県補助金を4,974万8,000円充当するものでございます。

なお、県の基準では、児童手当の受給者を給付対象として所得制限を設けておりますが、町では所得による制限はせず、全ての子育て世帯に給付したいと考えているため、県補助金額を上回る補正額としております。

また、特定財源の国庫補助金は、歳出の補正とは別に児童手当システムの改修経費に対し、国庫補助金の交付決定があったため、53万4,000円を追加するものでございます。

その下、2目保育所費の19節扶助費は、町内のこども園4施設分の保育士等処遇改善給付金の今年度下半期分として746万円を追加し、財源として国庫及び県負担金を充当するものでございます。

90、91ページをお開き願います。

上段、3款2項3目学童保育費につきましても、同じく町内の学童保育8施設の保育士等処遇改善のため、今年度下半期分として108万9,000円を追加し、財源として国庫及び県補助金を充当するものでございます。

ページ中段、4款1項の2行目、3目予防費は、10節から12節まで新型コロナウイルスワクチンの接種に係る経費2,982万2,000円を追加し、財源として国庫負担金、補助金及び雑入として他市町村からの負担金を充当するものでございます。

下段、6款1項1目農業委員会費は、次のページをお開き願います。農地情報公開システムのデータ更新と、農業委員が農地集積集約化に関する業務を迅速、円滑に遂行できるよう、タブレット端末を導入するための経費として、12節から17節まで合わせて52万5,000円を追加し、財源として県補助金6万1,000円を充当するものでございます。

ページ中ほどの3目農業振興費は、現下の農業用資材、農薬・肥料などの価格高騰のほか、天候不順による農作物の作柄などを総合的に勘案し、農家の経営を支援するため、農業経費高騰緊急対策支援給付金として、18節補助金に2億5,370万円のほか給付に係る事務費を追加し、財源として国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当するものでございます。

その下、5目果樹振興費は、特産果樹産地育成等確立事業として、雨よけハウス、巻上機、選別機の整備に係る事業費が増額となったことから92万7,000円を追加し、財源として県補助金を充当するものでございます。

94、95ページをお開き願います。

上段、7款1項の2行目、3目観光施設費は、バーデパーク施設の修繕のため、10節と12節に合わせて1,549万5,000円を追加するものでございます。

中段、8款1項1目土木総務費の10節需用費は、道路等の維持作業用機器の消耗部品や修理経費として58万円を追加。

下段の2項1目道路橋梁維持費は、町道維持修繕に係る修繕料、借上料、原材料費を合わせて、3,391万5,000円追加するものでございます。

96、97ページをお開き願います。

上段、2目道路橋梁新設改良費は、整備を進めております虎渡・広場線の道路かさ上げに伴い、水道管を移設する必要があるため、補償費に200万円を追加。

2段目、3項1目公園管理費は、町内公園の遊具、防犯灯などの施設修繕料に385万円を追加。

3段目の5項1目住宅管理費は、町営住宅の改修工事費に297万2,000円を追加するものでございます。

4段目、9款1項3目公債費は、7月以降引き続き発生しております豪雨に対応するための職員時間外勤務手当を132万6,000円追加するものでございます。

なお、特定財源の国庫補助金500万円は、既に予算化しております避難所における感染防止対策経費に対し、コロナ対応地方創生臨時交付金を充当する財源調整を行ったものでございます。

下段、10款1項2目事務局費でございますが、次のページをお開き願います。今後開催されます小・中学校の閉校式に係る経費としまして、10節需用費に5万3,000円、11節役務費に14万7,000円を追加するほか、14節は学校名変更に伴うサイン改修経費152万1,000円、17節は小学校ステージ幕の更新経費1,519万3,000円を追加するものでございます。

なお、特定財源の国庫補助金は、小・中学校への空気清浄機整備事業へ充当を予定しておりました、コロナ対応地方創生臨時交付金を他の充当事業との調整により、974万6,000円減額する調整を行うものでございます。

2段目の2項1目学校管理費の13節自動車借上料は、児童の登下校のためのスクールタクシーの運行対象地区が増加となったことから、64万8,000円を追加するものでございます。

100、101ページをお開き願います。

上段、10款5項社会教育費の2行目、4目文化財保護費は、実施を予定しておりました剣吉諏訪神社の祭礼行事と山車祭りの映像記録保存事業が名川秋まつりの規模縮小に伴い見合わせるようになったことから、これらの経費334万6,000円を減額し、財源として充当を予定しております。

した雑入の一般財団法人地域創造からの助成金200万円を減額するものでございます。

2段目、10款6項保健体育費の2行目、2目保健体育施設費は、町民体育館電気設備等改修事業に対し、スポーツ振興宝くじ助成金の交付の内定があったことから、財源として雑入に1,600万円を充当する財源構成を行うものでございます。

102、103ページをお開き願います。

11款1項1目農林水産業施設災害復旧費につきましては、専決第11号及び12号で復旧経費を補正したところでございますが、さらに8月15日の豪雨により、農道や水路などの復旧経費が必要となったことから500万円を追加するものでございます。

歳出につきましては、ただいま説明したもののほか、人事異動に伴う人件費の調整、民生費、衛生費関連の令和3年度国庫負担金の精算に係る返還金の計上、特別会計の補正に伴う繰出金の補正などを行ってございます。

ページを戻りまして、76、77ページをお開き願います。

歳入につきましては、歳出で特定財源として説明しなかった部分につきまして説明をいたします。

中段の14款2項1目総務費国庫補助金の説明欄の下段、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金につきましては、今年度の交付額及び令和3年度の交付額のうち今年度へ繰り越した額、合わせまして1億759万9,000円を本補正予算においてコロナ対策事業に充当を行っており、歳出の説明とダブる部分もございますが、農業経費高騰緊急対策支援給付金に8,069万9,000円、特別プレミアム商品券発行事業に3,725万円、避難所感染防止対策事業に500万円を充当し、これにより交付限度額を超過したため、介護予防拠点施設感染防止対策事業、PCR検査費用助成事業、事業者持続化支援事業、小中学校空気清浄機整備事業への充当額を一部減額する調整を行っております。

78、79ページをお開き願います。

2段目、15款2項1目総務費県補助金の元気な地域づくり支援事業補助金91万円は、連携中枢都市圏の八戸都市圏交流プラザ、「8 b a s e」の運営事業負担金に対し27万8,000円、三町食べ歩きスランプリ事業に対し63万2,000円が補助採択となったことから、歳入に計上し充当を行うものでございます。

3段目、18款2項1目財政調整基金は、本補正予算の不足する一般財源分として、2億2,592万円を繰り入れしたほか、4目地域振興基金は、令和3年度決算確定によりふるさと納税寄附金を積み立てた額との差額分4,184万2,000円を繰り入れするものでございます。

下段、19款繰越金は、令和3年度決算により前年度繰越金が確定したため、83万7,000円を追加するものでございます。

80、81ページをお開き願います。

下段、21款町債につきましては、第2表地方債補正で説明したとおり、臨時財政対策債の発行可能額が確定したため、1,559万3,000円を減額するものでございます。

また、歳入におきましては、令和3年度の民生関連事業費の確定により、国県支出金に不足があった歳入の追加交付分を計上しております。

議案第78号の説明は以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。1番、工藤愛君。

○1番（工藤愛君） ページは95ページ、7款3目10節需用費、修繕料、バーデパークの修繕1,500万円ということですがけれども、こちらの修繕内容をお知らせください。

○議長（夏堀文孝君） 商工観光課長。

○商工観光課長（北上隆広君） ただいまのご質問でございますけれども、バーデパークの修繕料、まず主な修繕でございますけれども、空調配管の修繕に242万円、消防設備の修繕に142万円、アヴァンセ浴室超音波ポンプ92万4,000円など、現在判明しております修繕を要する12か所分を計上させていただいております。

また、今後故障箇所が発生したとしましても、早期の対応ができるよう小破修繕料も追加させていただいております。

以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） 1番、工藤愛君。

○1番（工藤愛君） ありがとうございます。

今、バーデパークのほうでサウナ室も使えなくなって、せっかく町内無料バスが始まって、さあ、行こうかと言っている町民の方々から非常に惜しむ声というか、修繕の予定はあるのかどう

かという問合せも入っているんですけども、サウナ室のほうに関してはどのような予定になっていますでしょうか。

○議長（夏堀文孝君） 商工観光課長。

○商工観光課長（北上隆広君） サウナ室につきましては今故障しているわけではございませんで、三八地域のコロナの感染症がまだまだ沈静化していないということで、ただいま閉鎖しております。沈静化してきますと、開放のほうをしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） ほかには。11番、工藤正孝君。

○11番（工藤正孝君） ページは96、97ページの8款土木費5項住宅費、中段ですね。工事請負費の297万2,000円、改修工事となっていますが、どこのその町営住宅なのか。もしくは佐野平住宅であれば私見ましたけれども、今現在空いている住宅のこの玄関、窓、全部こうベニヤ板で大工さんが全部封鎖する工事をしていらっしゃいました。南部地区の町営住宅は昭和37年、38年ぐらいから40年とかですね、築55年、60年の古い住宅で、入居者もなかなか見受けられないなというふうに思っていたんですが、どんな理由で閉鎖に至ったのでしょうか。

○議長（夏堀文孝君） 建設課長。

○建設課参事（松橋悟君） まず、1つ目のご質問ですが、議案書の97ページ、8款5項1目住宅の工事請負費の297万2,000円の補正額の内容ですが、これは名川地区の向山団地、50戸ほどございますが、町営住宅のテレビの共同受信施設、これが当初予算にて602万8,000円ほど計上させていただいておりましたが、資材価格の高騰によりまして、不足分の297万2,000円を今回補正させていただきました。集合のテレビのアンテナを立てまして、それを各建物にアンテナの配線を屋内用にする中身になっております。

それから、2つ目の佐野平団地の住宅のベニヤ板、空いているところをベニヤ板で塞いでいるということですけども、空き家になっておまして、まずは防犯、あとは動物とか猫とか犬とかそういうのが入らないように、開口部の部分についてベニヤ板で塞いで、まず今のところ侵入

できないような対策を取るためにベニヤ板で塞いでおりました。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） 11番、工藤正孝君。

○11番（工藤正孝君） 最初の向山団地は分かりました。

佐野平住宅についてはですね、近年本当に動物、野生動物が近くまで降りて来たりとかですね、いたずらまでちょっと確認しますが、かなり見ているという、またひかれて道路にいたりとかですね、そういった珍獣が歩いているのも私も何回か見えていますけれども、そのほかにそういった害を防ぐために塞いでいるのであれば、今後借りる人が来れば開けなければならないのかなと思ったりしますし、借りる人はあまり古いので来ないかとは思いますが、いかがでしょうか。

次の予測といえますか、珍獣、そういった防犯というか防ぐのはあれですけれども、私は以前も駅前地区には不審火、放火とは言えません、不審火なるものがある、やっぱり空いている建物に何回かそういった不審火なる事件がありました。そういった部分も考えてみますと、あまりにも古い住宅をそのままにしておいて、廃墟化していくような、風化していくような感じに見受けられれば、またそういった事件も考えなければならぬ、予測をしていかなければならぬとなると、次の段階も考えていかなければならぬのかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○議長（夏堀文孝君） 補正予算に関する質問でお願いします。とりあえず答弁してください。建設課長。

○建設課参事（松橋悟君） ご指摘ありますように、町営住宅、南部地区の町営住宅で退去されたところにつきましては、施策空き家といたしまして、古いものですから、退去されたものについてはもう入居のほうは控えていただくようにして閉鎖しております。動物の話もしましたけれども、やはり防犯の目的が一番強いところで、定期的にその住宅のほうは職員のほうも見回っておりますし、あまりにも廃墟的な感じになるような状況にはまだございませんので、その辺は今後もしっかり点検見回り続けていきたいと思っております。

以上です。

○議長（夏堀文孝君） ほかに質疑ありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第78号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第78号は原案のとおり可決されました。

◎議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第19、議案第79号「令和4年度南部町学校給食センター特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。学務課長。

○学務課長（西舘昌男君） 議案書の107ページをお開き願います。

議案第79号「令和4年度南部町学校給食センター特別会計補正予算（第2号）」についてご説明いたします。

第1条、歳入歳出予算の総額に308万7,000円を追加し、予算の総額を1億8,670万7,000円とするものでございます。

最初に歳出をご説明いたします。

116ページ、117ページをお開き願います。

1款1項1目給食管理費でございますが、老朽化しご飯のこびりつきが目立つようになった米

飯用食缶及び同じく老朽化し潰れなどの損傷が目立つおかず用食缶を更新するため、17節備品購入費に308万7,000円を追加するものでございます。

次に、114ページ、115ページをお開き願います。

歳入でございますが、財源として2款1項1目一般会計繰入金に308万7,000円を追加するものでございます。

以上で議案第79号の説明を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第79号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第79号は原案のとおり可決されました。

◎議案第80号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第20、議案第80号「令和4年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。商工観光課長。

○商工観光課長（北上隆広君） それでは、議案書の119ページをお開き願います。

議案第80号「令和4年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）」についてご説明申し上げます。

本件は一般会計でもご説明申し上げたところでございますが、令和5年度分の南部町包括業務、当会計では送迎用マイクロバスの運転業務に係る債務負担行為の追加でございます。

それでは、次のページ、120ページをお開き願います。

債務負担行為の限度額でございますが、60万円とするものでございます。

こちらは1回の送迎に係る運転業務を6時間、年間50回分として算定したものでございまして、今年度の運転業務委託料予算額と同額でございます。

以上で令和4年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）についての説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第80号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第80号は原案のとおり可決されました。

◎議案第81号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第21、議案第81号「令和4年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長（夏坂和徳君） 議案書の121ページをお開き願います。

議案第81号「令和4年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,708万1,000円を減額し、予算の総額を22億2,345万2,000円とするものでございます。

第2条、債務負担行為の補正ですが、124ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為補正でございますが、こちらは先ほど一般会計等と同様、包括業務に関するもので、当会計では国民健康保険レセプト点検業務と国保保健指導及び事務補助業務を委託するものでございますが、契約に係る手続を年度開始前に行う必要があることから、債務負担行為を設定するものでございます。

まず、歳出から説明いたします。

132、133ページをお開き願います。

上段の1款1項1目の一般管理費でございますが、人事異動によります人件費の減及び未就学児均等割負担金のシステム改修による増で、191万円を減額するものです。

中段、3款国民健康保険事業費納付金については、1項医療費給付分から下段の2項後期高齢者支援金等分及び次の133、135ページ上段の3項介護給付金について、納付金額の決定によりまして、それぞれ減額するものでございます。

中段、5款3項1目の施設管理費でございますが、人事異動によりまして24万1,000円を増額するものでございます。

下段の8款1項3目の償還金でございますが、保険給付費等交付金と青森県国民健康保険給付費等交付金、特別交付金について、令和3年度の過大交付分の返還分を190万6,000円追加するものでございます。

続きまして、歳入をご説明申し上げます。

128、129ページにお戻りください。

上段、1款1項1目一般被保険者国民健康保険税につきましては、保険税の被保険者均等割額

の1万円引下げ等の本算定確定に伴い、収入見込み額を減額するものです。

2段目の3款1項1目保険給付費等交付金ですが、未就学児均等割負担金のシステム改修に伴う特別調整交付金分を増額するものです。

3段目の5款1項1目一般会計繰入金につきましては、人事異動に伴う人件費分を減額するものです。

下段の5款2項1目財政調整基金繰入金につきましては、財源の不足分を国保特別会計の財政調整基金から繰り入れるものでございますが、次の130、131ページ2段目の6款1項1目繰越金確定による増及び歳出総額の減額に応じて、財政調整基金からの繰入金を2,188万2,000円減額するものでございます。

以上で議案第81号の説明を終わらせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第81号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第81号は原案のとおり可決されました。

◎議案第82号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第22、議案第82号「令和4年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。福祉介護課長。

○福祉介護課長（戸室正樹君） 議案書の137ページをお開き願います。

議案第82号「令和4年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）」についてご説明申し上げます。

第1条、保険事業勘定の総額に1億648万2,000円を追加し、予算の総額を30億6,828万2,000円とするものでございます。

148、149ページをお開き願います。

歳出の主なものにつきましてご説明いたします。

上段の1款1項1目一般管理費であります。今年10月に予定されている介護報酬改定に対応するためのシステム改修費として、12節委託料に8万8,000円を追加し、財源として国庫補助金4万3,000円を充当しているものでございます。

次のページになりますが、150、151ページをお開き願います。

下段の6款1項2目償還金でございますが、前年度の事業費確定に伴い、国や県などへ介護保険給付費を返還するものであります。このほか、人事異動に伴う職員の人件費につきまして、増額または減額を行うものでありまして、充当される特定財源につきましても所要の補正を行っているものでございます。

続きまして、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

144、145ページにお戻り願います。

上段の3款2項6目事業費補助金4万3,000円及び3段目の7款1項1目3節事務費繰入金の説明欄の上段、繰入金4万4,000円ですが、歳出でご説明いたしましたシステム改修に伴う国及び町の負担分を追加するものであります。また、同じ説明欄の過年度分67万3,000円及び次のページになりますが、12款繰越金1億353万4,000円ですが、歳出でご説明いたしました国や県などへの返還金の財源として、予算を追加するものでございます。

このほかにつきましては、人事異動に伴う人件費の財源として、所要の補正を行っているものでございます。

議案第82号の説明は以上でございます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第82号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第82号は原案のとおり可決されました。

◎議案第83号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第23、議案第83号「令和4年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長（夏坂和徳君） 議案書の153ページをお開き願います。

議案第83号「令和4年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額にそれぞれ219万円を追加し、予算の総額を2億7,132万4,000円とするものでございます。

まず、歳出から説明いたします。

162、163ページをお開きください。

上段、1款1項1目一般管理費でございますが、人事異動により251万1,000円を増額するもの
でございます。

中段、4款1項1目保健事業費でございますが、人事異動により32万1,000円減額するもので
ございます。

続きまして、歳入をご説明申し上げます。

160、161ページにお戻りください。

上段、3款1項1目の一般会計繰入金につきましては、人事異動に伴い事務費等に要する費用
になっているため、一般会計から繰り入れるものです。

中段、6款2項1目広域連合保険事業委託金ですが、人事異動に伴う人件費を32万1,000円減額
するものでございます。

以上で議案第83号の説明を終らせていただきます。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第83号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議案第83号は原案のとおり可決されました。

◎議案第84号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（夏堀文孝君） 日程第24、議案第84号「令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。建設課長。

○建設課参事（松橋悟君） 議案書の165ページをお開き願います。

議案第84号「令和4年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」についてご説明申し上げます。

第1条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,400万円を追加し、予算の総額を3億1,700万円とするものでございます。

初めに、歳出からご説明申し上げます。

174、175ページをお開き願います。

1款1項2目施設管理費でございますが、1,400万円を増額し、1億7,106万円とするものでございます。

内容といたしましては、農業集落排水処理施設の通報装置更新工事において、導入機器の単価が高騰したことから、14節工事請負費について1,400万円を増額するものでございます。

以上が歳出の説明でございます。

続きまして、歳入をご説明申し上げます。

172、173ページにお戻り願います。

3款1項1目一般会計繰入金でございますが、1,400万円を増額し、2億6,161万9,000円とするものでございます。

内容といたしましては、先ほど歳出でご説明申し上げました農業集落排水処理施設の通報装置更新工事分として増額するものでございます。

以上で議案第84号の説明を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第84号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(夏堀文孝君) 異議なしと認めます。

議案第84号は原案のとおり可決されました。

◎陳情第2号の委員長報告、質疑、討論、採決

○議長(夏堀文孝君) 日程第25、陳情第2号「園や学校生活における、マスク着用が困難な子どもの人権を守ることおよび過剰な感染対策の見直しを求める陳情書」を議題とします。

教育民生常任委員会における審査が終了しておりますので、委員長の報告を求めます。教育民生常任委員長、山田賢司君。

(教育民生常任委員長 山田賢司君 登壇)

○教育民生常任委員長(山田賢司君) 去る8月30日の本会議において、本委員会に付託されました陳情第2号、園や学校生活における、マスク着用が困難な子どもの人権を守ることおよび過剰な感染対策の見直しを求める陳情書について、8月30日に委員会を開催し、慎重に審査を行いましたので、その結果をご報告いたします。

町内のこども園や小中学校では、国の指針に基づき、各施設においてマスク着用などの感染予防対策を講じ、園児や児童・生徒、保護者の希望に沿うよう対応しております。マスクを常時着用できない子供たちへも個別に対応しており、マスクを着用できないことによる差別等は発生していません。感染予防対策はマスクを常時着用できない子供たちへの配慮は当然必要であります。また、地域の感染状況や生活の場面、年齢などでも対策は異なってくるものと思われま

す。また、陳情項目を町等が発信することで、感染予防対策が緩むことも懸念されます。

以上を踏まえ、今後も施設管理者等が必要な感染予防対策を適切に実施していくことが必要であると考えられることから、全会一致で不採択とすべきものに決定いたしました。

以上で教育民生常任委員長の陳情審査結果報告を終わります。

○議長（夏堀文孝君） 教育民生常任委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

陳情第2号を採決します。採決は起立によって行います。この陳情に対する委員長の報告は不採択です。陳情第2号を採択することに賛成の方はご起立願います。

（賛成者起立）

○議長（夏堀文孝君） 起立少数です。

陳情第2号は不採択することに決定しました。

◎常任委員会報告

○議長（夏堀文孝君） 日程第26「常任委員会報告」を議題とします。

本件は配付しております報告書のとおり、常任委員長から報告がありました。

説明を省略し、質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 質疑なしと認めます。質疑を終わり、常任委員会報告を終わります。

◎委員会の閉会中の継続調査の件

○議長（夏堀文孝君） 日程第27「委員会の閉会中の継続調査の件」を議題とします。

本件は配付しております申出書のとおり、会議規則第75条の規定により常任委員長から閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りします。委員長から申出のとおり、決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

◎議員派遣の件

○議長（夏堀文孝君） 日程第28「議員派遣の件」を議題とします。

お諮りします。

本件については、配付のとおり派遣することにしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（夏堀文孝君） 異議なしと認めます。

議員派遣の件は、配付のとおり派遣することに決定しました。

◎閉会の宣告

○議長（夏堀文孝君） 以上で本定例会に付議されました事件は全部終了しました。

閉会に当たり、町長から発言の申出がありますので、これを許します。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） それでは、第111回南部町議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、私事でございますが、本定例会を一部欠席することとなり、議員各位をはじめ町民の皆様へ、ご心配、ご迷惑をおかけいたしました。

今後も体調管理には十分留意し、町民の負託に応えることができるよう、今まで以上に気を引き締めてまいりますので、住みよい南部町を創り上げていくため、議員各位のご協力をお願いいたします。

本定例会は、8月30日から本日までの日程で開会され、議員各位には何かとご多忙の中ご出席をいただき、誠にありがとうございました。

提出いたしました全ての案件につきまして、慎重審議をいただき、ご議決を賜りましたことに対しまして、心から御礼を申し上げます。

とりわけ、令和3年度南部町一般会計及び特別会計の計16件の歳入歳出決算につきましては、決算特別委員会において綿密なご審議をいただき、深く敬意を表する次第であります。

審議の中で、議員各位からいただきました様々なご提言には十分留意いたしまして、今後の行財政運営に役立ててまいりたいと考えております。

先般の6月定例会におきまして補正予算のご承認をいただきました、町独自の新型コロナウイルス対策支援事業の8月末現在の状況であります。まず、農畜産業を除く全業種の売上げが2割以上減少した事業者を対象とした「事業者持続化支援金」は、55の事業者から申請があり、940万円の給付を完了したところであります。

次に、広告費用や電子決済システムの導入費用など、売上げと客足の回復を図るための事業経費を補助する「販売促進事業費補助金」であります。14の事業者から申請があり、314万円の交付を決定したところであります。

農畜産業者が作業の負担を軽減できるアシストスーツの購入費用を補助する「農畜産業労働支援事業」であります。26着分の申請を受け付けており、309万9,000円の交付を決定しております。

次に、「特別プレミアム商品券」であります。8月30日をもって3万セットが完売となり、

町内の参加店舗での買い物や飲食に広くご利用いただいているところであります。

今後とも住民サービスに心がけ、町の住み心地ランキングのさらなる上位を目指してまいりたいと考えております。

次に、現在の農作物の生育状況であります。3月から8月中旬までの気温は平年よりも高く推移しましたが、日照時間は平年の半分程度で、降水量につきましては平年の2倍から3倍となっており、農作物への影響が懸念されるところであります。水稻につきましては平年並みの生育となっております。

野菜につきましては、作物全体的に長雨と日照不足の影響により、収穫量が減少していると聞いております。

果樹につきましては、桃の一部に長雨の影響が見られるものの、全体的に作柄は好調であり、町内の観光農園において、先月中旬から桃狩りが、下旬からは梨狩りが開催されており、南部町の旬の味覚をお楽しみいただいているところであります。

リンゴにつきましては、生育の進みが早いことに加え、適度な降雨の影響により、平年より果実の肥大が進んでいるとのことであり、今後も台風被害等がなく、すばらしい出来秋を迎えられますことを祈念するものであります。

さて、今月号の広報なんぶちょうでも特集しております、国史跡聖寿寺館跡であります。過去に出土した金属工芸品が、金メッキ加工が施されたふすまの引き手など、建具の一部であることが専門家の調査によって判明しました。

中世の出土品としては、国内で数例しか確認されていない希少な金属工芸品であり、居館内がきらびやかな色彩のふすま絵で飾られていたことを伺わせるものであります。

このほか、来客をもてなすために飾られたと思われる香炉や燭台の一部も確認されており、北東北最大の戦国大名南部氏の勢力の大きさや豊かな財力、都とのつながりを考える手がかりとなるとともに、客人や僧侶を招いて文化的レベルの高い生活をしていたことを示すものと、専門家からの高い評価をいただいております。

引き続き、当時の城館の姿の解明に向けて調査を継続し、当町の歴史的・文化的価値の向上に努めてまいりたいと考えているところであります。

去る7月9日に開催されましたジャックドまつりに続き、8月13日に南部まつりのステージイベントが、翌週の8月20日にはチェリリン村においてキャンプイベントとナイトシアターが開催されたほか、雨天により延期となって南部まつりの花火の打ち上げも行われ、多くの来客者でにぎわい、南部町の夏のイベントをお楽しみいただきました。

そして、明後日、8日から10日にかけては、名川秋まつりが3年ぶりに開催されます。感染症の拡大防止に万全を期しながら、規模を縮小しての開催となりますが、昨年8月に250年ぶりの修復を終えた剣吉諏訪神社の神輿が行列に初登場するほか、南部芸能伝承館とお祭り広場での南部手踊り披露、ミスさんさによる盛岡さんさなど、伝統芸能の魅力を存分に楽しんでいただける内容となっており、町としても大いに盛り上げてまいりたいと思います。

さて、9月に入り、令和4年度も折り返し地点が近づいてまいりました。今年度、実施を予定している事業につきましては、その進捗状況を確認し適正・確実に実施するよう努めてまいりますので、議員各位並びに町民各位のご理解、ご協力をお願い申し上げる次第であります。

結びになりますが、朝晩は空気が冷え込み、本格的な秋の訪れを感じるようになりました。

議員各位におかれましては、引き続き感染防止対策にお努めいただくことをお願い申し上げますとともに、健康には十分留意され、町政発展のためご活躍いただきますことをお願い申し上げ、本定例会のお礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

○議長（夏堀文孝君） ここで、私からもお礼の挨拶を述べさせていただきます。

去る8月30日から本日までの8日間、議員各位におかれましてはご熱心に審議を賜り、令和3年度各会計決算認定をはじめ条例の改正や令和4年度各補正予算など、多岐にわたる議案の成立がなされましたことを、議長として厚く御礼申し上げます。

また、議事の進行に伴い、各位のご協力を得ましたことを、重ねてお礼申し上げます。

町長をはじめ、理事者各位におかれましては、審議の過程において表明されました議員各位の意見並びに要望を十分に尊重し、執行に当たっては周到なる注意を払われ、今後の施策の上に反映されますことを強く要望する次第でございます。

皆様におかれましては、今後ますますご健勝で、南部町発展のため格段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますがお礼の挨拶とさせていただきます。

大変お疲れさまでした。ありがとうございます。

これもちまして、第111回南部町議会定例会を閉会いたします。

(午前11時10分)

地方自治法第126条の規定により下記に署名する。

南部町議会議長 夏堀文孝

署名議員 久保利樹

署名議員 夏堀嘉一郎